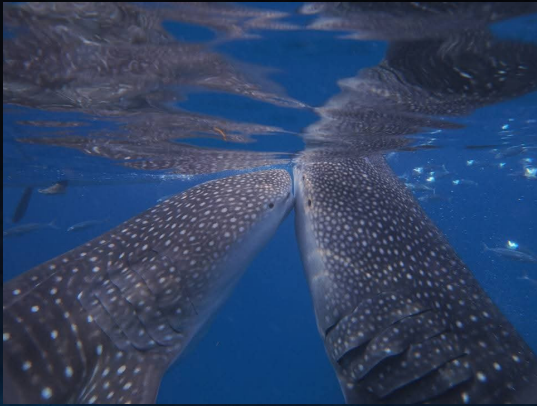


すずしろ

No.80
2025



公益社団法人
練馬区歯科医師会会誌



「竜宮城を探して」

西村 滋美 撮影



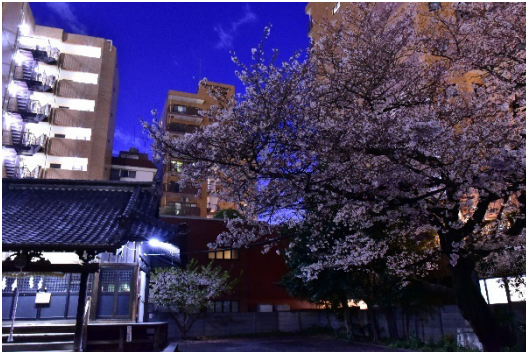
梅とメジロ

蓮池 敏明 撮影



ポルトの街並み

安齋 聡 撮影



安藤 浩徳 撮影

救急医療研修会

2024年7月10日(水)



砂田 勝久先生

学術講演会

2024年10月18日(金)



三上 徹 様

練馬区災害医療研修

2024年7月17日(水)



内田 勝幸 様

学術講演会実習

2024年10月18日(金)



2025年1月15日(金)

障害者歯科研修会



前田 茂 先生

令和6年度 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール

特賞作品

写真クリックしてね！



特賞（小学校低学年の部）
大泉第四小学校3年 北岡 歩さん



特賞（特別支援学級の部）
匿名希望



特賞（小学校高学年の部）
大泉第一小学校4年 森 稜汰郎さん



特賞（中学校の部）
大泉西中学校3年 佐藤 心春さん

令和7年 新年祝賀会

2025年1月11日（土）ホテルカデンツァ東京



浅田会長挨拶




森山憲一先生

 乾杯動画



写真クリックしてね！



 新年祝賀会次第

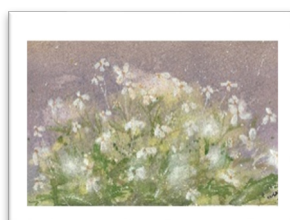
目次

巻頭言一会長	9
会務報告	10
連盟だより	33
練学歯だより	35
同窓会のページ	36
事務局だより	43
学会報告	44
新星のページ	46
ブロックだより	48
アゼリアの会	57
同好会だより	58
自由投稿	67
弔辞	70
逝去会員	81
編集後記	82

すずしろPDF版



表紙・カット／川村 省吾



新たなステージに向かって



会長 浅田 博之

練馬区歯科医師会会員の先生方におかれましては、日頃会務にご協力の程ありがとうございます。会長を拝命して2年が経過しようというところであります。世界に目を転じますと、アメリカでは再びトランプ政権になり、ロシア・ウクライナの争いは先が全く見通せず、国内においても、石破自公過半数割れ政権で、国内の政治もこの先、見通せない状況であります。歯科界においても、物価上昇による材料費の高騰、光熱費の高騰等、歯科医院経営を圧迫するような状況ではないかと思えます。昨年6月に診療報酬改定においては、保険点数にベースアップの点数が入りましたが、中々算定されている医療機関数が伸びていないのが現状のようです。マイナンバーの問題についても苦慮されている先生も数多くいらっしゃると思えます。歯科医師会として、何かできることはないか模索している所ではありますが、令和7年3月末においては、福祉共済の10年毎の見直しにおいては先生方の負担を減らせるよう改定していきたいと思えます。その他にも負担の軽減、報酬のアップができるよう模索中です。この原稿を書いている時点ではまだ結論を得ていませんが 公益法人制度の改訂が予定されています。会として適切に対応していきたいと思えますので、先生方におかれましては、宜しくご協力の程お願い申し上げます。昨年度は、医師会・薬剤師会との研修会を開催致しました。今年度も医歯薬連携強化、他業種との連携等、練馬区民のライフコースに応じたQOL向上につながるものを会として模索して参りたいと思えます。先生方も、積極的に会務に参画していただきますよう宜しくお願い申し上げます。

会務報告



副会長 上原 正美

(公衆衛生・地域医療・休日診療・保険・警察・災害医療)

日頃より、会員の先生方には本会事業に多大なるご支援、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

公衆衛生、地域医療、休日診療、保険、警察、災害医療の担当所管のうち私からは公衆衛生の中で練馬区行政との実務の一つ『練馬区健康推進協議会』に関してご報告させていただきます。

この推進協議会は練馬区の医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会をはじめ区民、学識、福祉、事業者関係団体で構成されており、練馬区における保健衛生及び地域医療の向上を図り、区民の健康の保持や増進を目的とするものであります。

今年度は練馬区から「練馬区健康づくりサポートプラン」（令和7年度～令和10年度）の素案が示されました。これまでのプランの名称変更と編成替えして次の6つの柱から成り立っております。

1.「はじめよう健康づくり～その気になった時がはじめどき～」 2.「もっと知ろう自分の身体～身近で安心、健診受診～」 3.「がんを知り、がんと生きる（練馬区がん対策推進計画）」 4.「妊娠期・子育て期を切れ目なくサポート！（練馬区母子保健計画）」 5.「おいしく健康になろう！～練馬ならではの食育～（練馬区食育推進計画）」 6.「寄り添い 支える こころの健康づくり」

特に新たに我々の歯科医師会と関連があるのは次の二点です。

「1.はじめよう健康づくり」の中で（歯から始める健康づくり）の項目で大人の歯磨き相談時に唾液を使った簡易検査の導入と虫歯や歯周病による歯の喪失予防と口周りの筋力維持の大切さなどについて、リーフレットや動画を作成し、早期からオーラルフレイル予防と口腔ケアの必要性について情報発信を新規に掲げています。

さらに「2.もっと知ろう自分の身体」からは成人歯科健診の20歳、25歳へ拡大と歯周病や眼疾患等は糖尿病などの生活習慣病と深く関連することから、歯科や眼科などでの生活習慣病に関する周知・啓発や受診勧奨について医師会、歯科医師会と協力した取り組みを検討すると示しています。

このように練馬区は歯科の重要性をさらに認識し練馬区民の健康維持増進に歯科の予防に対しより重点をおく施策を打ち出しているように思えます。我々歯科医師会としてもこれらに対応すべく日々区民の健康増進につながる啓蒙をしながら歯科医療の向上、研鑽を重ねる使命があります。

その他の所管に関しては担当理事からの報告がありますので省略させていただきます。

今後とも会員の先生方のご指導、ご鞭撻をいただきながら、会務遂行に努めてまいりますので宜しくお願い申し上げます。



会務のご報告



副会長 池田 頼宣

(医事処理・学術・医療管理・福祉共済・税務)

日頃、本会会務にご協力頂きまして、誠にありがとうございます。

私の所管は学術、医療管理、福祉共済、税務、医事処理です。

事業報告についてですが担当理事がおられる事業につきましては各理事にお願ひし、それ以外の事業を報告させていただきます。

まず医事処理です。昨年11月15日の都歯の医事処理担当理事の須藤先生のご講演につきまして、多くの先生方のご参加ありがとうございました。たいへん皆さん真剣にお聞きになっていた様子でした。私も明日は我が身に降りかかってくるかもしれない恐怖^_^から診療後の疲れた状態でも真剣に聞き入ってしまいました。きっと参加された先生方も同じお気持ちだったと思います。医事処理は引き続き就任当初から毎月1～2件位ありますが、今のところ大きな問題はなく経緯しています。しかし先生方には引き続きご注意下さいますようお願いいたします。重要なことはやはり患者さんの症状の状況説明と治療内容の説明が伝わっていない事が多いと思います。

税務に関しましては今年の問題点は特にございませんでした。

また福祉共済につきましては、昨年秋に福祉共済事業検討委員会にて協議して頂き、答申書をまとめて頂きました。誠に委員会の先生方に感謝申し上げます。そしてその答申書をもとに理事会にて改正案を決定しました。

今後とも練馬区歯科医師会が会員の先生方の御理解とご協力によってこれからも運営できますよう、浅田会長執行部へのご理解とご支援をお願いいたします。

会務報告



専務理事 松本 幸文
(つつじ歯科・広報・デジタル)

会員の諸先生方には、日頃会務事業に多大なるご支援とご協力を頂きまして、心よりお礼申し上げます。

理事となってより1年と半年ほどが経過しましたが、まだまだ至らない点があり、会員の先生方には大変なご迷惑をお掛けしているかと思えます。特に事業等に関わる先生方にはご指導・ご協力を頂きましたこと、この場をお借りして御礼申し上げますと共に、これからもご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

さて、この1年でのご報告になりますが、まずは前回のご報告で開催をお知らせしていた新入会員オリエンテーションについてです。

令和6年3月13日（水）に新入会員オリエンテーションを開催いたしました。今回は学校歯科医会と歯科医師連盟より担当の先生をお呼びしてそれぞれの活動内容などの説明をしていただきました。また、今までのオリエンテーションではあまり具体的にならなかった各種当番や協力医についても費用弁償や当番間隔、協力医としてのメリットなどについて、できる限りわかりやすくなるように私の方から参考資料を提示の上、説明をいたしました。

その後の懇親会でも十分な交流が図れた事と思えます。

今後も新入会員が本会の事業を理解し、会員同士の交流を図れるよう、また本会事業に協力して頂けるような内容を心掛けたいと考えております。

次に令和6年9月には城北歯科医師会連合会がありました。城北ブロックの6団体の歯科医師会（全て公益社団法人）の三役他が集まり、情報交換を行いました。他地区の状況や運営についての意見交換など、非常に充実した会合であったと思えます。

そして同じく9月に本会における福祉共済事業検討委員会（特別委員会）が立ち上げられました。12月までの間に全5回開催され、答申書が提出されました。これは共済事業が10年を1事業単位としている関係上、今年度が節目となるため令和7年度からの事業に関して運営方針を検討するために諮問委員会として立ち上げられたものです。

結果につきましては総会にてお話することになります。

最後に、来年度は公益法人に関する法令改定の施行があるため、令和7年度は今までと少し変わった運営が求められてきます。おそらくいくらかの混乱が生じるかと思われませんが、そういったものは最小限となるよう努める所存です。会員の先生方にはご迷惑をお掛けしてしまうかもしれませんが、法令改定に伴うものですので、何卒ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。



会務報告



総務理事 黒田 耕太郎
(福祉共済・警察・災害医療)

会員の先生方におかれましては日頃より本会事業にご支援とご協力いただきまして誠にありがとうございます。

昨年8月8日に気象庁より、史上初の南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されました。幸いにも、期間中に巨大地震は起きませんでしたがお盆休みと重なったため観光地等では予約のキャンセルなど大きな影響がでました。30年くらい前のイギリスの科学雑誌Natureに、日本の科学研究は実現不可能な常温核融合と地震予知に予算を使いすぎているという論評が載っていたことを思い出しました。エネルギー資源が少なく、地震大国の日本ではこの二つの研究に期待せざるを得ない事情がありましたが、未だにその成果は得られていません。そのため、地震はいつどこで起きるか予想ができませんので常に大規模災害に備えておかなければなりません。震度6弱以上の地震が発生した場合は、練馬区内の10ヵ所に医療救護所が設置され発災から72時間まで被災者の救護活動が行われます。練馬区歯科医師会では各医療救護所に歯科医療救護班を編成し、年に2ヶ所で行われる救護所訓練に参加しています。

昨年はじめに起きた能登半島地震の避難所では断水や口腔清掃道具の不足により口腔ケアが困難な環境であったと伝えられています。そんな中、日本歯科医師会では災害発生72時間以降の避難所等における口腔衛生活動を支援するJDAT（Japan Dental Alliance Team：日本災害歯科支援チーム）を運営していますが、来年度より全ての都道府県で編成することになり、練馬区歯科医師会からも参加することになります。

練馬区歯科医師会では、毎年行われる災害医療研修会、警察歯科研修会に加えて、本年度は歯科身元確認の実習を行い会員の先生方と共に警察署の方々にも参加していただきました。それに伴い、歯科身元確認用のポータブルX線装置を練馬区に要望して配備していただけることになりました。

そして、万が一の場合に経済的に支援する福祉共済事業ですが、事業単位が10年となっており、本年度で今事業が終了するため検討委員会を立ち上げました。委員会では活発な議論が行われ、作成された答申書を基に運営施行細則を改正いたしました。会員からの徴収は廃止し、当面は繰越金から給付を行うことになります。ご理解のほどよろしく願いいたします。



現況報告



会計担当理事 田中 太平

新年が明け早1か月が経とうとしていますが、会員の先生方にはますますご健勝のことと存じます。ただいま、浅田会長をはじめ、松本専務、山川事務局長にお世話になりながら、3月の総会に向け令和7年度の予算書を作成しているところです。

昨年6月の総会の決算報告で申し上げたことではありますが、令和5年度の公益目的事業活動における正味財産増減額は余剰となり収支相償が満たせませんでした。この要因として前執行部によりコロナ禍中で令和5年度の予算編成がされたこと、令和5年度のつつじ診療所の患者数がコロナ禍前の状態に戻ったことなどによるものだと思います。令和5年度は、コロナ禍だった前年度より事業活動の支出が増えたもののそれ以上に収入が大きかったことが余剰の原因だったと思います。昨年3月総会で報告した令和6年度予算は、現執行部が手探りの状態で編成したもので、この予算に対して令和6年度末（令和7年3月末）にどれだけの収支があるかを予測して、令和7年度は適正な予算の編成を組めればと考えております。

最後に小生が会計担当理事に就任して早2年が経とうとしておりますので、現状の感想を述べさせていただきます。毎月の理事会では、つつじ診療所の協議をしてから本会の理事会が開催されます。小生は西東京市の歯科医師会で理事を経験しておりますが、前段等なく本会理事会が開催されておりました。これは、つつじ診療所の予算が大きいため全理事で扱わなければならないからでしょう。つつじ診療所では休日診療も扱いますが、一般的に休日診療は会員の各診療所で輪番で廻している歯科医師会・市町村が多いです。つつじ診療所に行けば休日診療が受けられる区民は他市民より恩恵を受けていると思いますし、このようなシステムがある練馬区歯科医師会は他歯科医師会より大きな強みを持っていると思います。このようなシステムの維持に一助となるような理事の仕事が出来ればと思う次第であります。

学術委員会 会務報告



学術担当理事 坂本 一郎

【学術集会等参加助成金】

2023年6月より浅田博之会長執行部の学術担当理事を拝命して1年半が経過いたしました。この間の大きな事業としては学術集会等参加助成金の再開があります。会員の皆様が一人でも多く学会に参加できるように2024年度から取り決めを新しく作成いたしました。2024年1月の日本歯科医師会雑誌の巻頭では、高橋英登会長が「今年の抱負 そうだ！学会に出よう！」というメッセージを寄稿しています。「日本歯科医師会は、歯科医療界における『学術団体』であることから、日々の診療においても自ら研鑽、患者に高品質な治療を施すためにも学会活動は必須であります。」と述べています。本会では、日本歯科医学会の専門分科会と認定分科会の学会に参加した際に助成金を支給することといたしました（詳細は学術集会等参加助成金の取り決めをご覧ください）。本年度は27名の助成金申請がありました。日本歯科医学会は独立した法人ではなく、日本歯科医師会の内部組織です。是非とも日本歯科医師会の学会に参加しましょう！

【学術講演会】

2023年度第2回学術講演会は、第1回後のアンケート結果からテーマを「義歯」として、2024年3月27日（水）20時よりZOOM開催いたしました。日本大学歯学部歯科補綴学第II講座診療准教授の大山哲生先生に、「患者さんに喜ばれる保険で作る下顎義歯製作の勘どころ -アルジネート印象から設計、装着、調整まで-」という演題でご講演いただきました。参加者は61名でした。印象採得では、シリンジを用いてアルジネートをあらかじめ舌房と歯肉頬移行部に注入してからトレーを用いるときれいに印象採得できることでした。

2024年度はテーマを接着に絞って学術講演会を企画することといたしました。接着は、私たちの日々の診療で行わない日はないくらい、欠くことのできない技術となっております。しかしながら、その概念は日進月歩で、毎年のように新しい材料が発売され、以前からある接着剤もどんどんバージョンアップしております。

2024年度第1回学術講演会は、接着のパイオニアであるスーパーボンドについて、サンメディカル株式会社の三上徹様による実習付き説明会を2024年10月18日（金）20時よりハイブリッド開催いたしました。参加者は69名（会館19名、ZOOM 50名）でした。接着の基本、筆積法と混和法の使い分け、各種接着剤の接着強さの比較、裏技などをご説明いただきました。2022年に発売されたスーパーボンドEXは、冷蔵保存やダッペン用冷却器は不要で、室温保存、室温操作でも操作時間が確保できるとのことでした。

第2回学術講演会は、日本接着歯学会前理事長の坪田有史先生に「接着歯学歯冠補綴を中心に」というテーマで2025年3月12日（水）20時よりご講演いただく予定です。

【購入図書】

会館1階談話室（図書室）の雑誌コーナーには、ザ・クインテッセンスとデンタルダイヤモンドに加えて、歯界展望と日本歯科評論、アポロニア21とDETAL VISIONの定期購読を開始いたしました。是非とも会館にお越しいただき、気軽にお立ち寄りご覧いただければ幸いです。

学術委員会では、会員のみなさまに日進月歩の歯科医学に関する幅広い知識と情報を提供し、会員のみなさまが興味を持ってご参加いただけるような講演会・研修会を企画していきたいと考えておりますので、お力添えのほど何とぞよろしくお願い申し上げます。

【学術事業 学術集会等参加助成金の取り決め 2024年1月12日理事会承認】

1.本会は会員の研鑽及び本会の事業推進のため、同目的に対し有益な学術集会等に参加した会員に対し学術事業費から学術集会等参加助成金（以下助成金と略）を支給する。

2.助成対象は日本歯科医学会専門分科会または認定分科会の学術集会等とし、本事業以外から類似する助成金等が給付されないものとする。

3.助成金は会員本人が参加した学術集会等で参加費が1人1回五千円以上のものを対象とし、五千円を限度として支給する。参加費が1人1回五千円未満の学術集会等には支給しない。

4.参加登録・交通・宿泊等の手配は原則として参加会員本人が行う。

5.支給は、会員本人に対し一年度に1回を原則とする。

6.助成金を受給する場合は、11月末日までに参加証・領収書の写し等を事務局に提出する。これをもとに当該年度末に支給する。

7.12月以降開催される学術集会等に参加予定の場合は、11月末日までに参加予定 集會名・開催日・開催場所・参加費等の明示された資料を事務局に提出する。参加後には同様に参加証・領収書の写し等を事務局に提出する。

8.助成金申込者が多数となり事業予算を超えた場合、助成金を減額する場合がある。

9.本会は、助成受給者に対し参加報告書の提出を求めることができる。

10.上記の規定にない事項については、理事会で協議する。

今年の抱負 そうだ！学会に出よう！

公益社団法人日本歯科医師会会長

高橋 英登



令和6年が幕を開け、会員の皆さま方には慎んで初春のお慶びを申し上げます。

今年は「辰年」ですが、「竜」は十二支の中で唯一架空の生き物で、権力や隆盛の象徴であることから、出世や権力に大きく関わる年といわれています。また、陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年だと言われています。

公益社団法人日本歯科医師会の会長として第1コーナーを回ったところですが、この半年を振り返るとともに、執行部一丸となって、会員のために新たな挑戦に挑み、大きな飛躍の年にしたいと思っています。

さて、日本歯科医師会は、歯科医療界における「学術団体」であることから、日々の診療においても自らの研鑽、患者に高品質な治療を施すためにも学会活動は必須であります。

2年に一度の診療報酬改定には学会が大きく関与しており、国民の命を守る保険制度への新規導入は学問の上に成り立っています。「保険」は「学問」、つまり「医療保険学」として捉えるべきであり、学会活動の重要性を見直す必要があります。

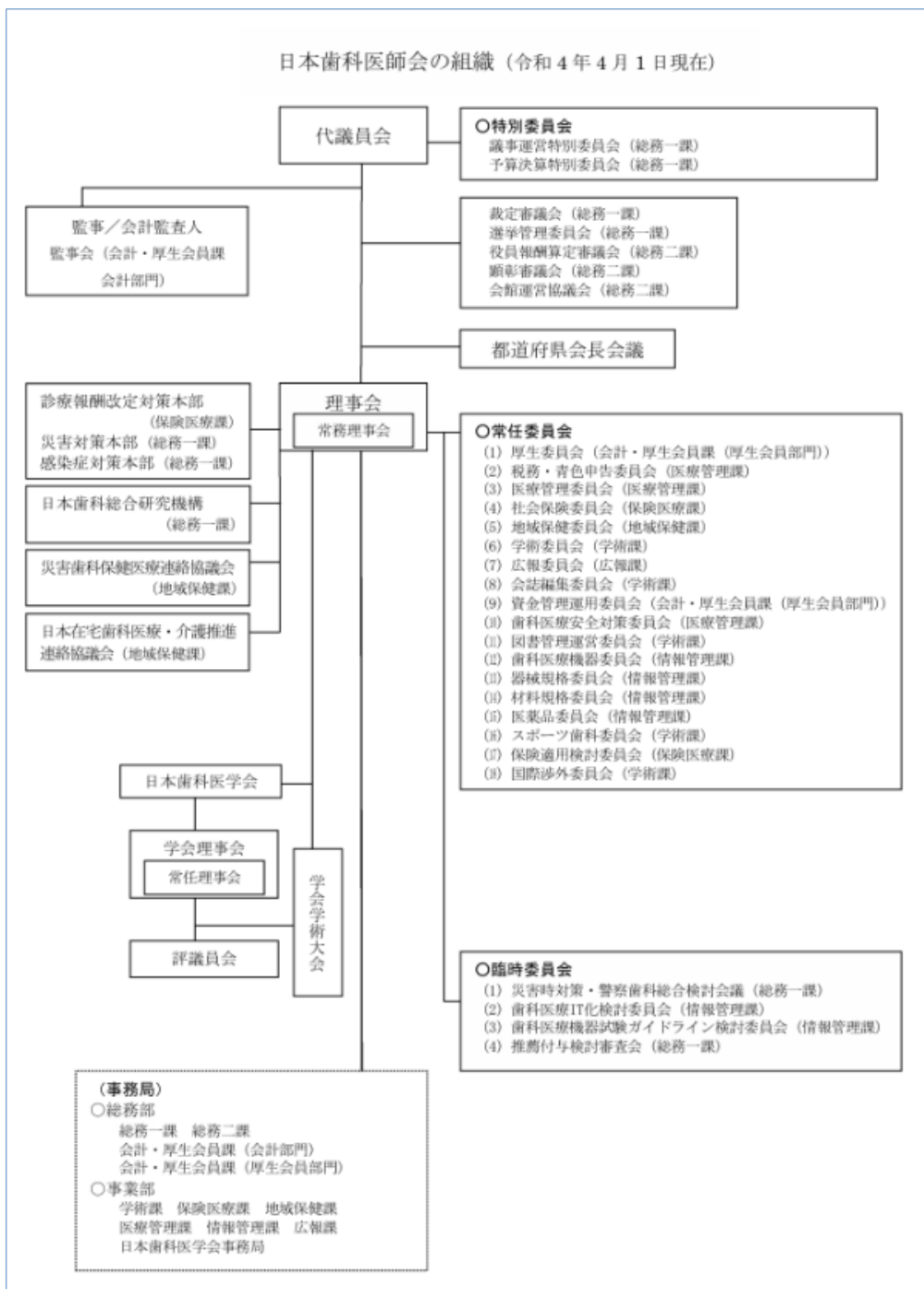
厚労省は、各学会から提出される「医療技術評価提案書」をもとに、新規技術・新規材料等の保険導入の審査、諾否を決めています。「医療技術評価提案書」は、保険診療に新規技術を導入することを目的に、各学会の内部委員会等で作成されるため、学会の活動実績が歯科領域での新しい治療法の保険導入に大きく影響します。日歯会員はそれらを支えるためにも、学会により積極的に参加することが求められています。さらに、昨今の「専門医制度」の確立によって、患者にも理解しやすい「専門医」が求められています。単に「広告開示」を意味するだけでなく、歯科医療において専門特化された知識と技術を有することは歯科医師としてのモチベーションを高め、患者に信頼される歯科医師となりうるのです。そのためにも日々研鑽する姿勢を継続することで、常に新しい歯科医学情報を取得しなくてはなりません。「死ぬまで勉強」「生涯学習」が使命であり、矜持でもあります。

学会に出席すると自分の足りない部分を知らされます。焦りにも似た恐怖感を覚えることもあります。しかし、自らの無知を知ることから知への一歩は始まります。そして“もっと頑張らなくては！”とモチベーションアップに直結します。意欲をみなぎらせるための最善の近道が「学会参加」なのです。

今一度、自らの歯科医療を振り返り、積極果敢に学会活動に参加し、歯科医師としての使命感に燃え、今年の辰年に因んで、活力旺盛になって一回りも大きく成長しようではありませんか。

本年も会員の皆様方にとりまして幸多き年であることを祈念しています。

日本歯科医師会の組織（令和4年4月1日現在）



◆ 令和7年度日本歯科医学会専門分科会学術大会一覧はこちらをクリックしてください

公衆衛生事業 会務報告



公衆衛生担当理事 竹之内 大助

先生方や事務局のご協力により、公衆衛生事業を滞りなく進めることができ感謝申し上げます。次年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。

会務報告

○ 練馬区への公衆衛生関連の要望書提出

① 板橋区との歯科健診相互実施について

② 76歳以上の後期高齢者に対して、毎年の長寿すこやか健診実施について

③ 成人歯科健診自己負担金無料化について

④ 成人歯科健診対象年齢の拡大（20歳・25歳）について

今後も、練馬区民の健康増進のために歯科医師会としてできることを考え、区へ要望していきたいと思います。

○ 歯の衛生週間行事の実施

① 歯ートファミリーコンクール（令和6年5月15日）

入賞者選出の口腔内診査実施および表彰動画（Youtube）へのコメント入力

② 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール（令和6年9月10日・12日）

入賞者選出および表彰動画（Youtube）へのコメント入力

○ すこやか健口教室への協力（令和6年3月15日、9月25日）

公衆衛生委員2名を派遣し、歯科相談および講話の実施を行いました。

○ 保育園嘱託医の選任および業務管理

○ 幼児歯科健診の担当割り振りおよび業務管理

○ 練馬区要保護児童対策地域協議会の参加

○ 練馬区歯科医師会・練馬区健康部連絡協議会の開催（令和6年1月25日）

練馬区と歯科保健事業全般についての意見交換を行いました。

○ 成人歯科健診・妊産婦歯科健診・長寿すこやか歯科健診の充実

○ 保育園歯科講演会（令和6年12月11日）オンライン開催

講師 山口義徳先生（渋谷区開業）

演題 知らず知らずのうちに健康を蝕む新型栄養失調

歯科から発信 「現代人の食事はミネラル不足」

本会会員と保育園関係者合わせて約80名の方が参加されました。

多くの会務に協力していただいた公衆衛生委員の先生方に、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。



医療管理委員会 会務報告



医療管理担当理事 押尾 武

『私が理事となり、2回のサマーフェスタを開催し、現在次回の開催を企画している段階です。年に一度、会員と家族、従業員が一同に会し、親睦を深めるという目的に沿って委員一同が頑張っているところです。何とか、若い先生方にも参加してほしいと願いつけているのですが、なかなか思うようにはいかず、参加人数も一昨年と、昨年の差がすさまじく、次回の子測が難しいのが悩みです。今年度の基本方針は適切な会費で、行きやすい場所で、全員が座って食事が出来るところで探しています。先生方には、他の会合にはあまり参加しないけれども、年に一度ぐらいは、顔を出してやるか、ぐらいの気持ちで是非参加をよろしく願っています。』



理事就任2年目を振り返り



保険担当理事 安藤 浩徳

令和6年6月の保険点数改定は施設基準の見直しなどもあり、久々の大きな改定になりました。更にDX化、マイナンバーカードによる資格確認等多岐に渡り困難化混迷化を極めております。歯科の保険点数は改定の度に厳しく、医院の経営にも多大な影響を与えておりますので、会員の皆様へなるべく分かり易くお役に立つような情報を提供していければ幸いと存じます。

令和6年度の傾向と致しまして、全体的に行政よりの指導が増加しており、内容も旧来に比べ複雑困難を極め、指導結果もよりシビアになっております。

従来は点数改定に合わせて、レセプト請求、請求上の留意点等講習会などで対応すれば充分でしたが、請求の前段階として請求の根拠を含めた正確なカルテ記載が非常に大切であり、カルテ記載の注意点・問題点などの講習も企画していきたいと考えております。

カルテ記載とレセプト請求の関係は例えていうならば盾鋒の関係で、その両方を十分強化しなければならないという訳です。

令和7年1月29日には関東信越厚生局東京事務所の笹井義宣医療指導官をお呼びして、講習会を開催することができました。関係各位ご協力ありがとうございました。

出席された皆様には、講習内容を参考にいただければ幸いです。

令和7年度は保険関係の回覧回数や購入書籍も増やしていきます。

保険に関すること、レセプト請求、指導関係等お困りでしたら事務局又は保険担当理事までご相談くださいませ。

令和6年度の会務報告を簡単に挙げます。

- 1.地区担当理事協議会への出席
- 2.整備会、訂正整備、保険相談
- 3.保険講習会の開催
- 4.新入会員保険指導・相談

5.新規指定医療機関の新規指導、個別指導への対応、立会い

6.練馬区国民健康保険運営協議会への参加

7.つつじ歯科診療所、練馬区休日急患診療所のレセプト点検も整備会とは別日で月2日以上行っております

8.その他

関東信越厚生局東京事務所が実施している集団指導への立会い
保険関係の書籍の充実等

なお、保険担当理事は現在1名の為、十分にカバーできない点多々あると思われ
ますが、ご容赦くださいますようお願い申し上げます。



会 務 報 告



地域医療・つつじ歯科担当理事 梅津 雅人

会員の先生方に置かれましては日頃よりつつじ歯科診療所および休日急患診療所の運営にご協力いただき感謝いたします。

まずはつつじ歯科診療所と休日急患診療所の令和6年の運営につきご報告いたします。

1、令和6年2月よりかねてから待望の常勤衛生士2人体制が実現いたしました。

新たに就任した衛生士は以前に常勤として勤務しており多少のブランクはありましたが滞りなく業務に取り組めております。

2、令和6年4月より区に要望していた摂食嚥下リハビリテーション事業枠の一部拡大が実現し、毎月第一火曜日の外来枠が加わりました。

また今年度より指導医の派遣を日本大学歯学部摂食嚥下機能療法学講座に一括してお願いすることとなりスケジュールおよび事業の一貫した管理がし易くなりました。

3、令和6年8月にこちらも区に要望していたユニットの更新が行われました

前年度も1台新しいユニットが更新されたのですがその際選定の段階で現場の意向が反映されておらず、いざ使用してみると使い勝手の悪い部分がありました。

なので今回は選定の段階から現場の意見を取り入れていただき希望に沿ったユニットの導入が実現いたしました。

4、令和6年9月より休日急患診療所の受付事務員の増員を行いました。

これにつきましては特に年末年始やゴールデンウィークの時期に来院する患者さんが増加傾向にあり今までの人員では対応が厳しくなってきたためです。

コロナ禍が明け患者さんの来院も以前のペースに戻ってきており現場の業務も忙しさを増してきている状態です。

よってより一層会員の先生方のご協力をお願いすることになると思います。

何卒宜しくお願い致します。

また令和6年は地域医療理事としていくつかの講演会、研修会で演者としてお声掛けいただきました。

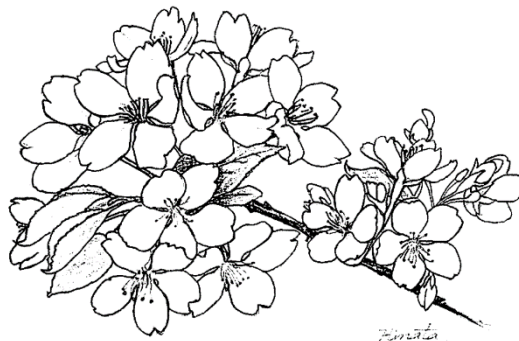
製薬会社主催の講演会では医科との連携で糖尿病と歯周病の関係、骨粗鬆症治療薬使用中の患者さんの歯科治療時の注意点についてなどのテーマでお話させていただきました。

また薬剤師会、デイケアサービスセンター主催の研修会では主にオーラルフレイルをテーマにし、その中で本会が運営している摂食・嚥下機能支援センターや摂食・嚥下リハビリテーション事業のご紹介もさせていただきました。

微力ではありますが他職種との連携を深めていく上での一助になったのではと思います。

カット・奈良 裕可

日向 邦彦



地域医療委員会会務報告



地域医療・つつじ歯科担当理事 生田 剛史

日頃より会員の先生方におかれましては、ご自身の診療があるにもかかわらず、つつじ歯科診療所当番、休日診療当番や各検診事業にご協力いただき本当にありがとうございます。地域医療理事を担当してから2年目の後半となり、少しではありますが歯科医師会の地域（というより行政）における役割を理解できるようになりました。国全体の問題ではありますが、練馬区でも超高齢化社会が急速に進んでおります。その対策として医科、歯科、薬剤師、整体師、介護などで連携し多様なサービスに対応できるよう「地域包括ケア推進協議会」「在宅療養推進協議会」を開催し高齢者の要介護者の増加にどう対応していくのかが話し合われています。「できるかぎり在宅で健康寿命を延ばす」というのが基本方針ですので歯科は健康寿命のバロメーターであり、つつじ歯科におけるいろいろな障害を持たれた高齢者の治療、摂食嚥下リハビリテーション外来、往診など重要な位置づけとなっております。私も一會員の時はそんなことを気にもしていませんでしたが地域医療理事としていろいろな現実を受け止め勉強させて頂きたいと思っております。

講演会、協議会事業としましては2024年度（記載時12月1日）

7月25日 つつじ歯科医療従事者協議会（区役所 対面）

10月20日 練馬区民公開講座（小佐野仁志先生 区役所地下多目的ホール）

10月25日 医歯薬連携カンファレンス（光が丘ホテルカテンツァ）

11月20日 地域医療講演会（薬剤師会 栗原勇治先生 会館ハイブリッド）

11月27日 摂食嚥下リハビリテーション協力医向け研修会（つつじ指導医中山先生）

本年度、地域医療委員会では「つつじ歯科摂食嚥下リハビリテーション外来協力医向けアンケート」を行いました。協力医の先生方ありがとうございました。委員会の先生方におかれましても行事の多い部署でありいろいろご迷惑おかけしますが今後ともよろしく願います。

広報・デジタル委員会会務報告



広報・デジタル担当理事 蓮池 敏明

現執行部から広報を担当しておりますが、令和6年で2年目となりました。当委員会は練馬区歯科医師会の活動や有益性を広く区民に周知し、会員の診療の一助になるための広報活動を心がけております。本年は現執行部が関与する初めての予算が執行され、広報としましては手始めとして区役所ホール2箇所にて本会のデジタル広告（スライドショーを含む）を設置しました。これにより会員の不断の研鑽と地域医療への真摯な取り組みが周知され、住民が歯科医院を選択するときの一助になると考えます。次年度以降は内容や手法を更に充実させる所存です。

また、従来から製作に携わって参りました広報誌”すずしろ”につきましても、全ページカラー化という内容の充実と発行コスト低減の両立を実現しました。これは広報委員が総力をあげて取り組んだ結果であります。

DXの応用としましては、現在はオンライン会議・オンライン講習会を行っております。将来的にはこれらのみならずメタバースという空間を利用することで、必ずしも対面でなくても親睦や良好な意思疎通を図ることが出来、会員相互の垣根を取り払うことが期待されます。これにより日常診療における有益なtipsを得られる場が新たにできるでしょう。次世代の歯科医師にとっては入会の動機向上とともに障壁が下がり、これも本会の将来にとって有効な手段であると思慮します。

振り返って近年、歯科医師会に未入会者が増加してまいりました。理由を拝聴すると入会のメリットが分からないという回答が多い印象です。これを改善する方策として、本会の魅力を非会員に周知するとともに、本会会員の不断の研鑽を区民に広報することが重要と考えます。

これらを総合して、区民の健康に寄与することは勿論のこと、地区歯科医師が入会したい・入会していて良かったと思えるよう本会の魅力を広めていきたいと考えております。歯科界を取り巻く環境は急激に変化しています。これに対し本会もアジャイルに行動することが求められています。引き続き皆様のご理解とお力添えをお願いいたします。

監事報告



監事 郷家 英二

令和6年は、1月1日の能登半島地震に始まり、長きにわたる記録的な猛暑や全国的に豪雨による甚大な被害が多発しました。とくに能登においては地震と豪雨との二重被災に見舞われました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

日頃から災害に備えることは大切なこととわかっているにもかかわらず実行し継続することはなかなか難しいことです。練馬区歯科医師会は練馬区と連携し防災事業に取り組んでいますが、各自が防災に目覚める機会として、本会からのこまめな情報提供と会員が常に情報を確認することが大事だと感じます。会員の先生方にはぜひ回覧メールのご確認をお願いいたします。

さて、浅田執行部も1期半ばを過ぎ事業も順調に進んでおります。講演会も対面での開催が増え、少しずつではありますがコロナ禍前の状態に近づいています。WEBでの参加が楽なハイブリッド方式での開催が今後も主流になるのでしょうか。一つ危惧するのは会員同士のコミュニケーションが減り、特に若い先生方と年配の先生方との交流がほとんど無くなったように感じます。執行部で新たな試みを期待するところです。会員の先生方で良いアイデアがあればどしどし執行部へ提案してみてください。

令和6年度第1回総会も会員の先生方のご協力により無事終了し、これからはチーム浅田の本領発揮の執行となります。監事として改めて会員代表の役目をしっかりと果たして参ります。

これからも先生方のご協力をよろしくお願いいたします。

監事報告



監事 栗田 正明

会員の先生方におかれましては日頃より本会事業等にご協力を頂きまして誠にありがとうございます。2023年初夏に誕生しました浅田執行部も今期は残すところ約半年になりました。

前斉藤執行部の際には会費徴収方法の大改訂（応能会費の廃止等）がありましたが、今執行部でも福祉共済事業検討委員会を立ち上げ、その福祉共済事業の在り方について、死亡共済金・福祉共済事業の資金運用を含め事業自体の拡大縮小や廃止まで幅広く検討してもらうべく諮問を行いました。その答申書が昨年末に提出され、このすずしろがお手元に届くころには、今年の総会での次年度の予算案とともに福祉共済制度の抜本的な改革案が提示されていると思います。

公益法人社団練馬区歯科医師会は会員数の減少と高齢化、オンライン資格システム・マイナ保険証導入等の環境の変化、行政の指導内容の強化・複雑化等、益々そのかじ取りが難しくなっており、前執行部あるいは前年度の踏襲ではなくその状況に応じた弾力的な運営が求められるようになってきていると思います。

これからも会員の代表として会務の執行を監査して参ります。

今後とも本会の活動に対し会員の先生方のご支援ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

国保審査会より



国保審査委員 宮本 一世

令和5年1月に国保審査委員の委嘱を受けましたが、本年1月から2期目として、引き続きR8年12月まで務めることになりました。会員の先生方の診療報酬請求のお役に立てるように、微力ではありますが精一杯務めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて、国保審査会は1月から期が変わり、新旧委員が交替しました。練馬区からは新しく、荒井秀次先生と上原直先生の2名の先生が審査委員に就任しました。私と合わせて3名となり、1地区の人数としては国保審査会で最多となりました。また、社保審査委員には鳥越博貴先生（都歯指導書作成常任委員兼任）と鶴岡岳史先生が、さらに都歯保険常任委員では経験豊富な伊藤伸介先生が活躍されています。このように、練馬区から多くの現役保険関係者が出ておりますので、保険担当理事の安藤浩徳先生とも情報を共有しながら、会員の先生方のお力になればと考えております。

審査については、R6年保険改定は大がかりなものとなりました。とりわけ多くの施設基準が新設・改変されたことで、混乱もあったように思います。現状ですが、これまでと同様に、東京都は他都道府県と比較して、いろいろな施設基準の届出率が低めようです。施設基準には加算点数が紐づけているものも多く、いわゆる増点ためにも、取れるものはなるべく取っておくことが有利に働くものと思われます。算定要件、申請方法等、分かりにくい点多々ありますので、ご不明点については、個別にご相談いただければと思います。

引き続き2年間、よろしくお願い致します。

連盟だより

練馬区歯科医師連盟

理事長 村上 雅一



会員の先生方におかれましては平素より連盟活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。令和6年の連盟活動についてご報告いたします。今年は自民党の「裏金」問題で自民党の各派閥解散までに発展する事態となりました。自民党にとっては支持率も低下した大変な年となりました。組織団体として政権与党を支援している連盟としても活動に多少変化がありました。年明けの政党の新年会は影を潜め春先からの議員による都政報告会、区政報告会が執行の主になりました。令和6年も歯科医師会に対して理解があり協力的な議員の会合には交代で出席し支援して参りました。

選挙活動に関しましては7月に都知事選挙、10月には衆議院議員選挙がありました。都知事選挙は本連盟推薦の小池百合子氏がめでたく圧勝いたしました。10月の衆議院議員選挙は今回より練馬区が東西に2選挙区に別れました。本連盟では9区すがわら一秀氏、28区安藤たかお氏を推薦いたしました。結果はご存知の通りすがわら一秀氏落選となってしまいました。区議時代より歯科医師会には協力頂いているだけに非常に残念です。公示直前まで自民党支部長今村氏の推薦も検討しながらのすがわら一秀への選挙応援で難しさもありました。安藤たかお氏は比例で復活当選を果たしました。安藤氏は練馬区医師政治連盟が前回落選の結果を踏まえてか力が入っていました。4師会合同ミーティング後には決起大会が開かれ連盟役員全員と練馬区歯科医師会浅田会長他理事の先生方にもご協力いただき参加いたしました。11月には練馬区公明党との歯科医療懇談会を開催いたしました。5年ぶりとなる会で公明党は以前にくらべて人数が減ってしまいました。7議員全員出席されました。歯科医師会要望書の内容、歯科医師会の事業活動等活発な意見・質問があり有意義な会となりました。今後も歯科医師会に協力的な議員に対しては継続して働きかけてまいります。現在国政の方では歯科医師会組織代表として、参議院で山田宏議員と比嘉奈津美議員が歯科界の為ご尽力されています。尚今年7月の参議院選挙においては現職の比嘉奈津美先生が組織代表に決定しております。

会長挨拶文



練馬区学校歯科医会

会長 草柳 英二

会員の方々には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は学校歯科衛生活動に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

令和元年暮れに発生した「新型コロナウイルス感染症」は、私たちの日常生活に大きな変化を与えました。感染対策の影響で日常生活の経済的な困窮が生じ、児童生徒の健康格差が目立ち始めました。低所得者の家庭やシングルマザーの家庭に徐々に変化が生じたようです。歯科疾患の予防や治療が疎遠になり、コロナ禍以前よりも児童生徒のう蝕や歯肉炎が増加傾向にあることが、国内でも練馬区学校歯科医会の調査研究でも報告されております。家庭でのDV件数も増加し、ネグレクトや児童虐待の件数は、練馬区および都内でも明確に増えました。私たちは、自然災害や新たな感染症等に対し、医療従事者として一般社会に対し生活環境の指導を示唆し、全身および口腔の健康を堅持する必要性が大切であると考えております。特に学校歯保健活動については、児童生徒の歯と口の健康に尽力を注ぎ、新生活様式による集団生活の管理を促す責務があります。令和5年5月8日よりCOVID-19の対応が2類から5類への移行に伴い感染症対策が薄れ、現在ではインフルエンザと新型コロナウイルス感染症が感染増加傾向にあります。今後も練馬区学校歯科医会は、学校歯科保健活動を区内の児童・生徒の歯と口の健康推進の発展に貢献してゆきたいと願っておりますので、練馬区歯科医師会および練馬区歯科医師連盟と共に練馬区児童生徒の健康を願い邁進してゆきます。



東京医科歯科大学練馬校友会（同窓会）より

田中 賦彦

東京医科歯科大学は東工大との統合により東京科学大学となりましたが、同窓会練馬支部は東京同窓会と歩調を合わせ当面これまで通りの名称を継続することになりました。同窓会練馬支部では毎年学術講演会をZOOMで開催しています。講師には本学に在職する先生をお願いしています。今年は小児歯科学分野の柿野聡子先生に「子どもの口腔機能発達不全症への対応 -評価と治療の実際-」というテーマでお話をして頂きました。また保険改定のある年には、本学出身の審査員の先生などをお願いしています。今年は国保審査員の宮本一世先生にお願いしました。

その他には、支部会員の親睦を図るため夏の食事会と新年会を開催しています。

20人位の支部ですので、この数年で5人の先生が入会してくれたことはとても

喜ばしいことと思っています。少人数ゆえにお互いが親しい関係でいられると思っています。理事会や委員会などには支部からも出てもらっている先生もおります。これからも本会の運営に貢献できるようにと思っています。



練水会活動報告

小池 修

練水会は、東京歯科大学同窓会練馬支部の愛称で、本校卒及びご協力をいただいている先生を含め、43名で構成されています。

会として本会の事業に積極的に取り組んでいくことをその基本理念として活動しています。

行事としては、新年会、学術講演会、保険講習会、雑話会、暑気払い、親睦旅行などを行っていますが、ここ最近はコロナ禍の影響でなかなか満足な活動ができていませんでした。

でも先日、久しぶりに静岡県浜松に7名の会員の参加を得て、グルメ目当ての一泊旅行に行ってきました。

2024年12月14日、品川駅に集合し新幹線にて浜松駅に向かいました。

到着後すぐに駅構内の石松餃子JR浜松駅店に入り、`おやつ`として浜松餃子の元祖となった石松餃子、肉餃子、水餃子を注文しビールを軽くいただきました。

キャベツの優しい甘みが浜松餃子の特徴とのことで、そのおいしさは格別でした。

その後、バスで浜名湖畔のホテル鞠水亭に向かいました。楽しみにしていた河豚料理は水揚げがないとのことで残念でしたが、生きアワビの踊り焼きをはじめとした地元遠州の恵みをふんだんに取り入れた宴会料理を堪能しました。

翌日は快晴で、朝食後徒歩で近くの舘山寺に行きました。曹洞宗秋葉山舘山寺は弘法大師が当地で修業し開山したとされ、修行されたという洞窟があり舘山寺穴大師石像（目のお大師さん）が安置されています。寺の背後には舘山があり、

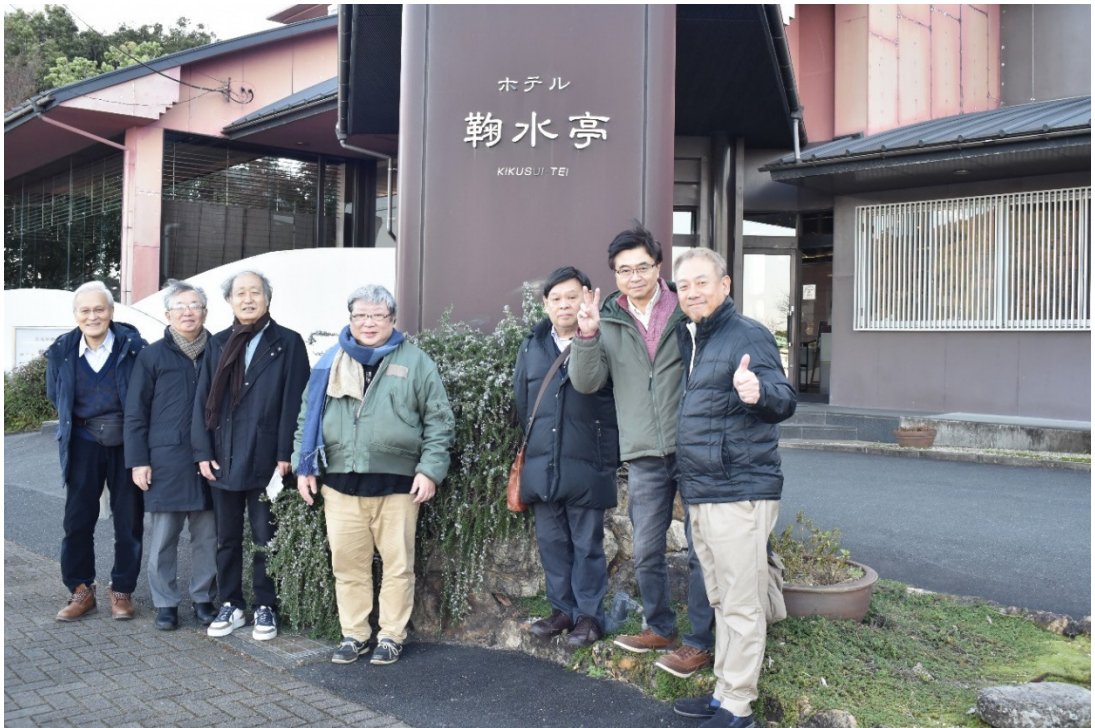
散策道が整備されています。舘山寺大観音、西行岩、稚児岩、富士見岩など絶景を堪能することができます。

昼時となり、舘山寺温泉にあるうなぎ専門店「志ぶき」に向かいました。予約をしてあったのですが、さすがの人気店で20分ほど待って入店しました。

浜名湖のうなぎは、温暖な気候と地下から汲み上げた良質な天然水が質の高いうなぎの生産につながっているそうです。

蒲焼と白焼きと一緒に楽しめるという二色小井を注文しました。さすがの名産浜名湖うなぎはどちらも一味違った素晴らしい味わいでした。大満足で浜松駅から新幹線に乗って帰郷しました。

久しぶりの練水会旅行となったこの二日間は、参加人数は少ないですがより親密な時間を過ごすことができました。



日本大学歯学部同窓会練馬支部について

日本大学歯学部同窓会練馬支部

支部長 瓦井 徹

日本大学歯学部同窓会練馬支部は日本全国にある86支部のひとつで、練馬区には1歯科医師会—1支部です。練馬支部では日大歯学部卒、松戸歯学部卒だけでなく、支部活動に賛同する他大学卒の先生方にも門戸を開いております。また、原則として本会会員で構成されますが、本会未入会の先生も一部おりますので、本会入会の働きかけを継続して進めています。

練馬支部は現在79名の会員で活動しております。支部活動の主たる目的は会員同士の親睦にあります。例年の行事としては、学術研修会や保険講習会などを開催しております。令和6年1月には、コロナ禍で長らく開催を見送っていた新年会を開催できました。久しぶりの開催とあって、多くの先生方の出席がありました。令和7年も同様に開催いたしますので、多くの会員のご出席をお待ちしております。以前は、レクリエーションとしてバス旅行なども開催しておりましたが、コロナ以前の形にはなかなか戻れなくなっております。コロナ等の感染防止対策を考慮し、小さな単位のコミュニティーで集う場所を提供していくなど、新しい親睦の形を模索している所です。

定例の活動としては、支部長以下37名の役員で役員会を開催しております。以前は毎月開催しておりましたが、本会が導入したGoogle WorkspaceやZoomミーティングを活用することで、隔月開催にすることができ、役員の負担軽減を図っています。

本会の事業に協力するため、多くの役員・委員への立候補をお願いしております。本会だけでなく、(公社)東京都歯科医師会、歯科医師連盟や学校歯科医会でも多くの先生に活躍して頂いております。一方で、日本大学歯学部同窓会および日本大学歯学部同窓会東京都支部連合会の活動にも協力し、同窓会としての事業にも貢献していただいております。また、日大同窓の数名の先生が、社保・国保審査員として、練馬会員の保険診療の安定を目指し、執務して頂いております。

すずしろをお手に取られた先生で、日本大学歯学部同窓会練馬支部にご参加されたいという方がいらっしゃいましたら、ぜひ支部長もしくは日大同窓の会員まで、お気軽にお声かけ下さい。よろしく願いいたします。

東京都日本歯科大学校友会練馬支部

支部長 有福 章徳

明治40年に創設された日本歯科大学の同窓会として、「日本歯科大学校友会」は明治42年にスタートいたしました。北は北海道、南は九州まで支部がございます。練馬は東京都の校友会の所属し現在会員数は64名となります。

活動内容としまして、主に会員同士の親睦が中心となりますが昨年度は歯内療法専門医である本学同窓の下山智義先生を招いての「NiTiファイルを使って時短で安全な根管治療」、今年度は補綴科出身の本学歯科理工学講座、主任教授の新谷明一先生を招いての「保険でできるメタルフリー補綴の注意点」と言った時代のニーズに合わせた会員向けの学術講演を開催いたしました。

近年はZOOMを用いたハイブリッド講演やアーカイブ配信なども行ない、会員の診療内容の向上を測るとともに改訂時期に際しましては保険講習会を行うことで疑義解釈等の周知徹底をしております。

人と人との付き合いを大切に、毎年の会員親睦会や忘年会、また各種講演会の後の後席では先輩・後輩の垣根を越えて親睦を深める行事を行っております。



ZOOM配信



下山智義先生



新谷明一教授



令和6年度 練馬校友親睦会「レストランバス ツアー」

明海大学歯学部校友会練馬支部だより

支部長 上田 和也

明海大学歯学部校友会練馬支部は随分と会員数の増加をみておりました。校友は比較的高齢会員が増加したためか、近年になり医院廃業が多くなりこれと共に脱会者も増えてまいりました。しかしながら、幸いにも地域医療に熱心な青年会員も印象的です。これからも会務等において一定の役割を担えるよう皆様のご指導をお願いいたします。

新嘗祭という神事があります。周知のように五穀豊穡を願い感謝する儀式ですが、それと共に天照大御神は人々が力を合わせて豊穡を実現し、これによって民が仲良く幸せに暮らす社会の実現を願われたとのことです。本会の本分はステークホルダーである区民の健康であることは言うまでもありません。我々はこれと併せて当地区歯科医師が一致することによって、皆様の更なるwell-being (WHO) を実現したいと希望しております。

我が校友会は、微力ながら本会の発展に役立ちたいと願っております。今後とも何卒よろしく願いいたします。

明海大学歯学部校友会練馬支部会員一同

「大泉と練歯と私」



練馬区歯科医師会

事務局 清水 輝子

2023年1月より事務局に勤務しております清水と申します。日頃より関係する団体の皆様、会員の先生方には大変お世話になっております。

今日は私が在住しております大泉学園の歴史、おススメのお店についてご紹介したいと思います。2年前に神奈川県川崎市より転居してまいりましたが、その際「大泉」という地名が気になり、引っ越し前に下調べをしました。泉というと水辺がそばにあるのか、地盤は緩くないかなど、住むにあたっての下調べです。

地名の由来を紐解くと、江戸時代の大泉は伊賀忍者・服部半蔵の私領だったとする記述も。明治以降は小樽村～樽橋村～湧き水を源流とする白子川から取って小泉（おいずみ）村というように村々の合併による地名の変遷があったようです。しかし、この地名をめぐる紛糾が重なったこともあり、人々が仲良くそして村の大きな発展を願い大泉村になったとのこと。

この大泉村に目を付けたのが、西武グループの創業者・堤康次郎。箱根土地（後の国土計画）による大規模な住宅開発と学園誘致を計画。大正時代に雑木林が広がる土地を買収し、街を整備したことから大泉学園通りを中心に碁盤の目状に家が立ち並んでいます。一方通行の道が多いのが難ですが、結果的には平らで地盤の心配もなく快適に暮らしております。

固い話ばかりになってしまいましたが、私のお気に入りには桜とケーキ屋さんです。この大泉学園通りには道の両側に桜が植えてあり、春には駅まで約3kmの見事な桜のトンネルを見ることができます。また、芸人御用達のケーキ屋さんもあり、大泉学園町の「ナカタヤ」のケーキとプリンは絶品です。夕方には売り切れてしまうこともあるので是非早めの時間にお越しになってください。

最後になりましたが、歯は生きている限り毎日使う大切なものです。地域医療を支えるお手伝いをさせていただいているという使命感に立ち、これからも事務局の皆さんとともに業務に尽力してまいります。虫歯にならないよう、ケーキの食べ過ぎには注意します（笑）。

学会報告

第20回 警察歯科医会全国大会に 参加して



警察歯科委員会 梅田 博幸

日時： 2024. 8.3(土)

場所： 山口県 かも福オンプレイス

今年度、山口県かも福オンプレイスにて開催された「第20回警察歯科医会全国大会」に練馬区歯科医師会からは、浅田先生、黒田先生、堀部先生、梅田で参加いたしました。

今回のテーマは、{警察歯科医DXの進め方～データで繋がる警察歯科医～}でした。

山口県歯科医師会副会長の下村明生先生によって開会宣言がなされ開始となった。

特別講演は、山口大学名誉教授 三浦房紀教授による「南海トラフ巨大地震死傷者ゼロを目指す」という時勢にあった講演でした。

その後のシンポジウムは「歯科診療録のデータベース化について」 柳川歯科医院の柳川忠廣院長が座長となり4講演を行った。

山口大学大学院医学系研究科高医学講座 高瀬 泉教授「(臨床)法医学におけるDX」厚生労働省保険課長 小嶺 裕子先生「歯科診療情報による身元確認について」山口県警坂本 隆本部長「警察における歯牙鑑定の重要性と課題」東京大学医学部附属病院企画情報運営部副部長 井田 有亮先生「医療DXの成果を警察歯科医療活動に応用する」について講演なされた。

歯科のカルテには、患者によって自費、矯正、パーソナルカルテ、保険診療カルテと複数ある。カルテは、一元化することが望ましい事。大規模火災に備えて歯科診療録のデータベース化に期待するとの講演をなされた。

閉会の挨拶は、山口県歯科医師会副会長 南崎 信樹先生が行った。

ポスターセッションには、能登半島地震に対する報告が多く発表されておりました。

懇親会では、山口県歯科医師会理事の寛能田先生とテーブルを囲みました。楽しい懇親会でした。

ニューヨークタイムズ紙にて「2024年に行くべき52か所」の3番目に山口市が紹介されていたとの事でした。浅田先生がアテンドしてくださり、レンタカーで効率的に立ち寄れる名所を回れました。瑠璃光寺の5重の塔は改装中で見ることは出来ませんでした。しかし、境内の景観も素晴らしかったです。秋芳洞は、日本三大鍾乳洞というだけあり荘厳でした。秋吉台も壮大な景観でした。萩では松下村塾から始まり、木戸孝允の生家などを観光して約2万歩を歩きました。

私にとっては、初の警察協力医の学会でしたが、とても充実した学会遠征でした。



秋吉台



秋芳洞内； 堀部先生 浅田先生 黒田先生

新星のページ

中村 朋美 (なかむら ともみ)

日本大学歯学部・平成8年卒

自己紹介：

出身は群馬県前橋市、出身大学は日本大学歯学部です。大学卒業後は、同大学小児歯科学講座にて歯学部助手、その後日本大学助手を務め、その後明海大学に在籍し、その後は神奈川県歯科大学小児歯科学講座助教、現在は練馬区練馬にて開業しました。小児歯科専門医指導医として地域歯科医療、大学教育に貢献して参りましたが、20年ほど前からアンチエイジングにも特化した包括歯科医療を提供できるよう日々研鑽しております。現在は院長を務めながら、母校日大で非常勤講師、神奈川県歯科大学にて特任講師として、臨床と学術に貢献できるように努力しております。新入会員として伝統ある歯科医師会に微力ながら貢献させて頂きたく存じます。今後とも御指導御鞭撻のほどよろしく申し上げます。

趣味：

仕事が趣味ですが、ゴルフも始めました。

三宅 由紘 (みやけ よしひろ)

日本歯科大学 平成17年卒



自己紹介

現在、練馬区豊玉上にあります中村歯科医院にて勤務しております。出身地は宮城県石巻市で海が近くにありよく釣りをしていました。卒後は練馬さくら歯科にて鶴岡先生に基礎をご教授頂きその後中村歯科医院へ移りました。中村先生とは大学時代の硬式野球部の先輩後輩の間柄で仕事からプライベートまで今に至るまで大変お世話になっております。近頃は練馬区歯科医師会歯野球部に参加させていただき楽しく活動しております。しかしながら運動不足もあり足を引っ張ってしまうこともあり、来季こそヒットを量産できるよう頑張りたいと思います！よろしくお願いたします。

抱負

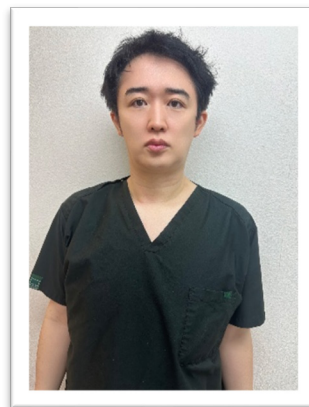
地域の皆様に安心・安全な医療を提供できるよう精進して参りたいと思います。

趣味

スポーツ観戦

梅田 貴載（うめだ たかのり）

福岡歯科大学・平成16年卒



自己紹介

出身は福岡県です。

大学卒業後は都内で勤務医として各諸先生方にご指導を頂きました。

この度お世話になりました先生が体調が思わしくないとの事で閉院されて
おりました医院をご縁があり引き継がせて頂きました。

未だ若輩者ではございますがご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

抱負

今後練馬区の地域医療のお役に立つことが出来ましたらと考えております。

趣味

映画鑑賞

氷見 一馬（ひみ かずま）
日本大学歯学部卒 2015年卒



自己紹介

この度練馬区歯科医師会に入会致しました氷見一馬です。
生まれも育ちも練馬区桜台で区立開進第三小・中学校の出身です。
大学卒業後、日本大学大学院歯学研究科に進学し、歯内療法学の研究と臨床に従事して参りました。大学病院には5年間所属し、現在も兼任講師として実習に参加などしております。また、大学病院に在籍している際には離島診療として神津島にてへき地医療や医科病院の歯科診療室にて認知症・障害者医療も行って参りました。
その後、関東近郊、都内の自費専門医院や一般医院にて診療に従事し、2023年11月に西武池袋線中村橋駅にてレアリゼ歯科クリニックを開院致しました。

今後の抱負

地元練馬への恩返しという大袈裟かもしれませんが、1人でも多くの患者さんに笑顔になってもらえるような治療を行うとともに、歯科医師会の一員として練馬区への貢献が出来ればと考えております。

趣味

野球、ゴルフ、旅行

..... ブロックだより

ブロックだより

練馬ブロック

練馬ブロックだより

坂本 一郎

昨年1月29日に練馬ブロック会を4年ぶりにリアルで開催いたしました。21名集まる盛大な会になりました。その際、新しいブロック長に黒田先生が選任されました。そして、会計は梅田先生、副ブロック長は私が指名されました。参加者21名のLINEグループを作成し、1年間いろいろな情報を共有してきました。今年度は2月26日に練馬ブロック会を開催する予定ですが、この原稿を作成時には写真が間に合いませんでした。今後、黒田ブロック長のもとブロック活動をもっと盛り上げていきましょう。みなさま今後とも何とぞよろしくお願い申し上げます。



↑写真クリックしてね

追伸 写真間に合いました。

大泉ブロック

大泉ブロックだより

生 田 剛 史

万年ブロック長の生田剛史よりブロック会のご報告です。

2024年度は8月21日に大泉学園レストラン・カルドにてブロック会を開催いたしました。

おいしい料理+飲み放題ということでワイン類も在庫を飲み干すほどの勢いで私にとっても本年度1番の二日酔いとなってしまいました。皆様におかれましても、もうムリの効く年齢ではございませんのでくれぐれも飲みすぎにはご注意ください。(私がエラそうに言えることではありませんね)

大泉ブロックでは年2回の開催を予定していきまして次回は新年～春先を予定しています。

この「すずしろ」が発行されるころにはまた「酔っ払い」が製造されていることと思いますがこれからも「酒場放浪記」の吉田類さんを目指して頑張ってまいります。



..... ブロックだより

関・上石神井ブロック

関・上石神井ブロックだより

佐藤 大翼

関・上石神井ブロック長の佐藤大翼です。

関・上石神井ブロックでは、2024年6月29日、上石神井にあります「おやじの台所しゅん屋」にてブロック会を行いました。前ブロック運営担当の大川内先生(前ブロック長)、田添先生(前副ブロック長)、野坂先生(前会計)より引き継ぎ、新体制にて初回の開催となりました。

副ブロック長は内藤先生、会計は村上雅一先生にご担当いただき、運営してまいります。

今回は参加11名で、写真(1枚目)右列手前側から、村上、池田、内藤、梅津、田添、大川内、石井、安達、上田、佐藤、浜田(敬称略)となりました。

仕事の話、趣味の話など、各々盛り上がりを見せ、残る方は2次会、3次会までいき、大変パワフルなブロック会となりました。



北町ブロック

北町ブロック会2024

佐久間 栄

初夏の7月6日、約1年ぶりに北町ブロック会（練北会）が毎回恒例お馴染みのホテルメトロポリタン中国料理桂林で行われました。

参加者は、関東元歯科医師会会長、市川元歯科医師会会長ら重鎮の先生に加えて浅見練馬区歯科医師会理事、小池先生、小杉先生、山本先生、箭本先生、中村先生、漆原先生、日下先生、私、新入会の関先生（昭和大学卒）の12名でした。前日は猛暑、当日は土砂降りの雨が降り電車が遅延するような状況でしたが無事に開催され、大変有意義な会合になりました。

北町ブロックの先生のお元気な顔を拝見でき、新しい保険制度、施設基準の難しさや大変さだったり、近年の物価高や材料費の高騰、スタッフの賃上げ、代診の先生、歯科衛生士を含めたスタッフ募集の難しさ、助成金の話しなど身近な話題で魅力あるお話が出来ました。

早宮地区で開業しました関先生の新入会も嬉しい話題でした。関先生は昭和大学の歯科放射線科で准教授まで勤め上げた大先輩で、画像診断のプロですので困ったときに相談したいと思います。

昨年、漆原先生の訃報もありました。

私も入会して24年経ちましたが、入会当初からいつも笑顔でとても優しい先輩で、よくして頂きました。本当にありがとうございました。漆原先生のご冥福をお祈りいたします。

次回の開催は来年2月ぐらいを予定してます。練北会の先生の方たくさんのご参加をお待ちしております。

最後にいつもブロック会の運営にご尽力頂いております浅見先生、小杉先生、日下先生に感謝申し上げます。

..... ブロック日より



池袋メトロポリタン中華桂林にて

石神井ブロック

石神井ブロックだより

竹之内 大助

石神井ブロックの催しとしては、2023年・2024年と忘年会を行いました。2023年は練馬の魚たかにて9名、2024年は池袋のすし土風炉にて7名の先生が参加されました。個人的なことではありますが、私が大学病院に勤務していた時に臨床実習を担当させてもらった斎田さやか先生とお酒を飲めたことは嬉しかったです。

同じ地域の歯科医療を担う先生方と、世代を超えて仕事や労務の相談をしたり、日常のことを話したりできるのはとても貴重なことです。今後、ますます多くの先生に参加していただけると嬉しいです。よろしくお願い致します。



富士見ブロック

中村・富士見ブロックだより

蓮池 敏明

中村・富士見ブロックは以前は活発に活動しておりましたが、コロナ以降、ブロック会が開かれておりませんでした。その間、還暦や古希を迎える会員も多かったです。今年度は1月18日に久しぶりに新年会を開催することができました。皆様の元気な姿をお送りします。



練馬区歯科医師会 アゼリアの会



本田 美知子

入会後ほぼ10年近く、診療や子育てで自分に余裕がなく、ブロック会すら会費のみ払い不参加の時間を過ごしておりました。

そんな時、同じブロックの今は亡き加藤さつき先生や中村洋子先生にお声をかけて頂き女性だけの食事会に参加をいたしました。

その当時は「練馬区歯科医師会婦人部」という名称でした。私より年上の先生方が多かったため、開催は日曜日の昼、練馬区近辺に限られていました。幹事は持ち回りでしたが徐々に年配の先生方の出席が減り、幹事も誰だかわからなくなる状態になりました。

それなら！と、食通の小杉先生と榎本先生と私が半永久幹事となり、せっかく女性だけの年に1回の食事会なのだから、家族で行くには予算が厳しい、でも食事は優雅にしたい日々働いてる自分へのご褒美！をコンセプトに、会の名称も「アゼリアの会」と変更して再開することに致しました。

食べながら飲みながら、時には歯科がらみの話もしますが、ほとんどは他愛のない女性特有のいわゆるおしゃべりです。行かれた旅の話だったり、時には家庭の愚痴だったり、でもさすがに毎日パワフルに仕事をしているDR達、話が尽きることなく、お酒も程よく回ってくると、ちょっと声が大きくなります。ですから、選ぶ場所は必ず個室のあるところ！

年会費は3千円、ほぼ通信費にしか使わないので、残りはその食事会の飲み物代に代わります！今までに様々なところへいきました。

アンコウ鍋のいせ玄・テレビで有名になったうかい亭など、いつも15人から20人の参加者があり、皆さん次はどんな料理がいいか楽しみにされていました。

残念ながらコビット19のせいで、ここ数年開催することが出来ませんでした。新入会の先生がたもかなりおられる様で、来年位には再開したいと思っております。出身校など関係のない、本当に楽しい会です。案内がいきましたら、ぜひご参加ください。

参加条件は、本会会員で女性というだけです。

次回のアゼリアの会で皆様にお会いできること楽しみにしております！！

同好会だより

釣り部

「簡単!楽しい!!アジ釣り大会」

釣り部 部長 安齋 聡

去る7月21日曜日、神奈川県横浜市金沢の「釣宿 太田屋」において釣り部主催の釣り大会を開催いたしました。梅雨明けの晴天に恵まれ、釣りが全く初めての先生やお子様の参加もありましたが、楽しい一日を過ごしていただきました。



出発前には船頭さんからレクチャーがあります



沖には八景島シーパラダイスが



お子様も多数参加いただきました。



和田先生・酔う前に酔うそうです・・・

参加者（敬称略・順不同） 漆原 梅津 瓦井 竹谷 新野 浜田 羅
森田 吉積 和田 森田友人 安齋 有福（子） 安齋（子） 和田（子） 漆原（子）
肝心の前部長の有福先生は寝坊となり、棧橋でお出迎え頂きました。



↑ 写真クリックしてね！

今回の釣りはLT鯰1.8~2.1mのライトタックルロッド、40号のビシカゴを用いてイワシのミンチのコマセを撒きながらアタリを狙います。前日はそれぞれこっそり釣具屋さんに駆け込み仕掛けに工夫を施し、いざ勝負!!!

結果ですが 超接戦になりまして

第一位 羅先生 24匹
第二位 森田先生 22匹
第三位 瓦井先生 21匹

豪華賞品(?)が贈呈されました。

来年も釣り部では初心者でも楽しめる釣り大会を企画していこうと思っておりますので奮ってご参加ください。



ゴルフ部

N.D.Cゴルフ部会

有福 章徳

練馬歯科医師会会員の先生方こんにちは！！

昨年4月から西條且津前部長の後任でN.D.Cゴルフ部部長をさせていただいている有福です。

令和7年は、松山英樹選手がP.G.Aツアーのザ・セントリーでP.G.A新記録なんと35アンダーで優勝という、新年早々朗報が飛び込んできました。賞金はなんと約5億7000万円だったそうです。すごいですね！さて夢のような賞金の話はさておき、N.D.Cゴルフ部会の紹介をさせていただきます。

現在約30名の会員で年6回コンペを4組から6組で開催しております。ゴルフが上手い下手は関係無く当日は皆さん楽しく過ごしています。昨年は新入会員2名入会されました。

今年も新入会員募集しております。若い先生方又ゴルフ部会に入会してみようかなど思っている先生方、どうぞゴルフ部会の先生方に声をかけて話しを聞いてみて下さい。

体験入会も是非どうぞ！！



武蔵松山カントリークラブにて



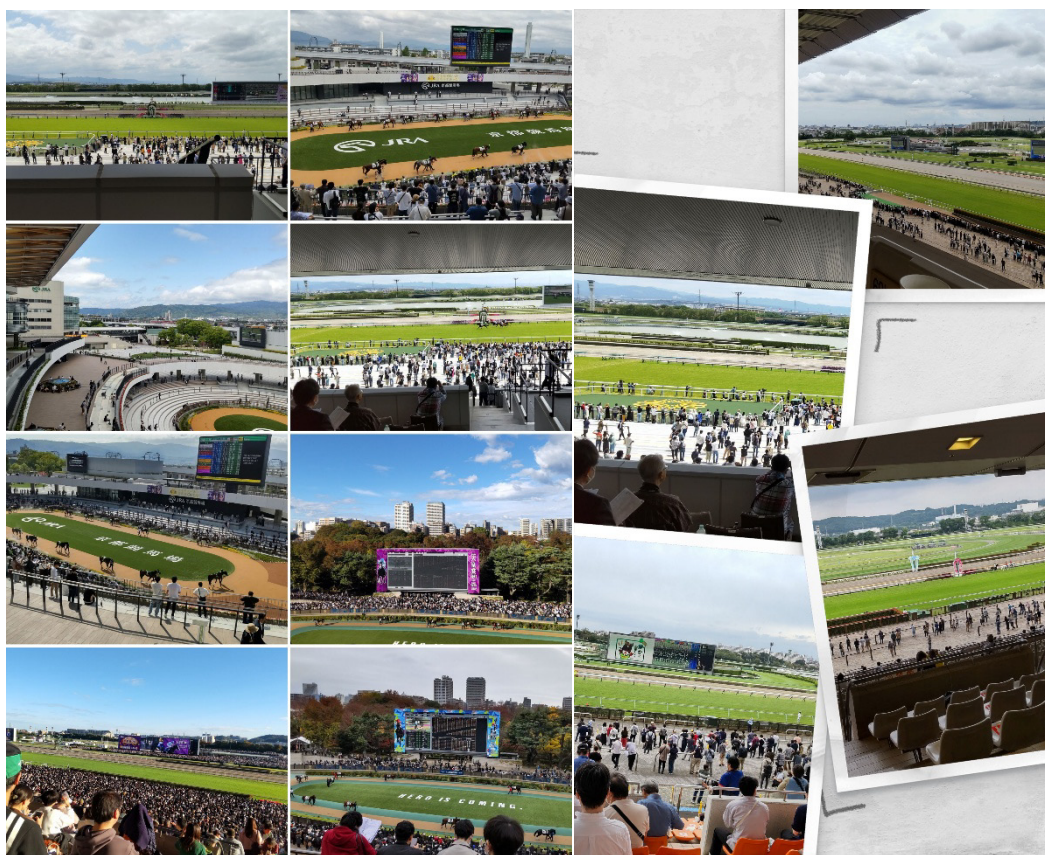
忘年コンペの打ち上げ（割烹 甲州にて）

NDHC（競馬研究会）

NDHC（競馬研究会）活動報告

浅田博之

令和6年の活動報告をさせていただきます。令和6年は研究会を6回開催致しました。地方への遠征及び研究会としての東京競馬場観戦は日程が合わず実現しませんでした。令和7年は出来れば、地方への遠征（札幌・函館・新潟・福島・小倉のいずれか）及び東京競馬場観戦を行いたいと思いますが、昨年11月より、要介護5の母の世話が有り、果して行ける状況なのかは不透明な状況であります。それでも競馬は家でも楽しめます。グリーンチャンネルという有料放送を視聴すれば、競馬場で得られる情報は、ある程度得られます。が、競馬場に行って生観戦したい今日この頃であります。





練馬区歯科医師会野球部

2024年 野球部の活動

松田 浩一

練馬区歯科医師会野球部は、2024年度東京都歯科医師会野球連盟野球大会において、悲願の優勝をすることができました。

優勝をさかのぼりますと、私の父が野球部の現役だった昭和38年に東京都で優勝した旨を聞いた事がありました。実際に優勝楯が実家に保存されておりましたが、現在、野球部最年長の松本義敏先生によりますと、20数年前より新しく大会が始まってからは、初優勝である事が判明しました。

私が入部した10数年前の当時の野球部は、故横田惇先生が監督で、エースが松本義敏先生、現監督の中村雅史先生を中心とした活気のある楽しいチームでしたが、なかなか優勝争いには入り込めず勝率5割前後の成績でした。

コロナ禍では、3年間野球部としての活動機会がなくなり、その間に退会された先生や部員の高齢化に伴って、部員数が一気に減少してしまいました。そのような時に野球部の無い中野区歯科医師会と四谷牛込歯科医師会の野球に情熱のある先生方が入部され、また新しい戦力として、佐藤大翼先生、氷見一馬先生、三宅由紘先生といった野球経験者の入部もあり、2024年3月から始まった大会において

8対1 蒲田歯科医師会戦

16対10 世田谷歯科医師会戦

5対3 江東歯科医師会戦

4対1 品川・荏原歯科医師会戦

5対4 杉並歯科医師会戦

9対0 八南歯科医師会戦

8チーム中、6戦全勝の成績で優勝を勝ち取りました。



すずしろ特集

自由投稿

写真・動画・絵画・俳句・等々、ジャンルは問いませんので楽しい
趣味などございましたら、ご寄稿よろしくお願ひいたします。

お問い合わせは広報・デジタル委員会まで

Mail: koho@nerishi.org



小児矯正の初診相談について



吉川 剛太

今回、すずしろ特集の依頼があり、どのようなテーマにするか悩みましたが、小児矯正について、お話させて頂こうと思います。

当医院は住宅街にあるので、初診相談でいらっしゃる方は、お子さんが約7割を占めています。クリニックを色々回られている方も多く、そのような患者様はドクターによって話が違っていると悩まれています。

小児矯正とは難しいもので、一期治療スタート派のドクターもいれば、二期治療スタート派のドクターもいます。それぞれ、ドクターが考える治療のゴールがそもそも異なるので、患者様は困ってしまうのだと思います。

とにかく、あらゆる可能性について全て患者様にはお伝えする事が、初診相談では大切なことだと思っています。当医院では、スタッフにも初診相談を手伝ってもらっています。

僕は、機能的問題があるケースは早期治療を行った方が良いと考えております。

骨格性二級、三級咬合、開口、過蓋咬合、下顎側方偏位、異所萌出、乳歯早期脱落、過剰歯などといった患者様が来院された場合には、早期治療をお勧めしています。

学校医の検診でも、不正咬合にチェックを入れるケースは、上記の問題がある子です。

ただ、シビアなケースについては、外科矯正の適応になるで、早期治療を行わない場合もあります。このことも患者様にはきっちりお伝えしておく必要があると思います。

叢生に関しては、顎顔面頭蓋の成長発育に問題がでてくる可能性がある場合のみおすすめしています。無理に側方拡大しても後戻りするのです。

また使用装置も、今はマウスピース型矯正装置が多数存在します。

プレオルソやムーシールドをはじめとした機能的矯正装置や、マルチブラケット装置やクワドヘリックスなどの代わりとなるインビザラインもあります。どの装置がいいとかではなく、どの装置も使いどころが重要だと思います。それぞれの装置の長所があるので、僕は色々な装置をミックスさせています。

また、習癖の問題があるケースは、治療がスムーズに進みません。MFTも行う必要もあります。患者様はやること沢山あるので大変ですが、頑張ってもらっています。

最後になりますが、父の代から、診療室を引継ぎ、早いもので10年以上が経過しました。歯科医師会の先生方にはご支援頂き、本当に感謝しております。この場をお借りして、改めてお礼を申し上げます。



ホーチミン ドタバタ講演旅行記



南 誠二

韓国のインプラントメーカーBIOTEM(バイオテム)社から思いがけない講演オファーが有り、昨年末にホーチミン市へ行ってきました。48時間という短い滞在でしたが、アクシデント有り、サプライズ有り、大変濃い時間でした。

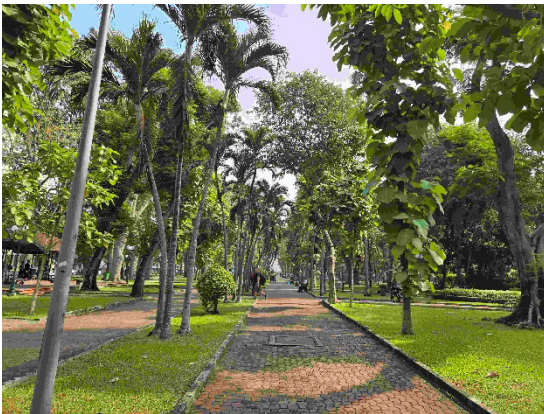
1日目12月19(木)：午前の診療を終え、アテンドしてくれる歯愛メディカルの韓(ハン)さん(韓国出身ですが、日本語はネイティブレベル)と成田空港で合流し、17時45分発のJAL直行便に搭乗しました。BIOTEM社は私にビジネスクラスを用意してくれました。機内食は洋食を選択しましたが、ここで今回の旅行最大のアクシデントが起きてしまいました。何と、硬いパンをかじったら、10年近く前に入れた左上2番目の前歯の差し歯が水平に折れてしまったのです。成田からホーチミンまで約6時間半ですが、まだ2時間くらい経った頃です。私はこれからワインでも飲みながらゆったり過ごそうと思っていたのに、明日の講演の時に恥ずかしくて笑顔を作れないし、しゃべりづらいうなあ、なんでこんな時に！ついてない！と、その後はずっと暗い気持ちのままタンソンニャット国際空港に到着しました。-2時間の時差なので、22時30分頃着きましたが、多くの海外からの到着便が重なるようで、入国審査は長蛇の列で到着ロビーに出るころは日付が変わっていました。BIOTEM社海外事業部のトミー部長にピックアップしていただき、午前1時くらいにホテル(New World Saigon)にチェックインできました。海外事業部トップのヨウ専務もロビーで待っていてくれました(写真1)。そしてトミー部長が近くのコンビニで瞬間接着剤を買ってきてくれました。

2日目12月20日(金)：2時間くらいしか寝られませんでした。差し歯も水平に折れているので接着剤ではうまく着きません。歯が無いままホテルの朝食を食べ、講演は19時からなので、BIOTEM社のアテンドで午前中はマッサージにいきました(髭剃り、耳掃除、爪切り、洗髪など、びっくり)。ラーメン屋で昼食を取り、

午後からは観光の予定だったのですが、タクシーの中でヨウ専務が突然、「今から歯医者に行こう！」と言いました。私は、「えーっ、急に行っても良いのですか？私は歯が無くても大丈夫です」と答えたのですが、「講師の歯を治すことは、トッププライオリティだ」と言ってくれました。そして、向かったのは、何と！夜の私の講演で日本語をベトナム語に通訳してくれるフォン先生の歯科医院だったのです。彼は学位取得のため東京医科歯科大学に4年間留学していたそうです。30分以上かけて丁寧に治療してくれました。マイクロと炭酸ガスレーザーで歯肉の出血を止めて仮歯を作ってくれました（写真2, 3）。そのおかげで私は快適に夜19時からの講演を務めることが出来ました。トップバッターは私、それから韓国のDr. Park、ベトナムのDr. Duyの3名が45分ずつ講演して、お互いが質問しあう、その名も「BIOTEM BATTLE」と名付けられたイベントでした。（写真4, 5, 6）ベトナムの歯科医師290名が参加して大盛況でした。私は会場に来るまで会議室のような所でやるのだと思っていましたが、そこは何とLa Vella Saigon というホテルの大宴会場でした。参加者がフルコースの料理を食べながら、お酒も飲みながらの講演会でした。日本ではちょっと考えられない形式で面喰いしましたが、いつの間にか私も緊張を超えて楽しんでいたような気がします。22時くらいにイベントは終了しましたが、出入り口に設けられた記念撮影の場所にベトナムの歯科医5名が、Dr. MINAMIと写真を撮りたい、と待っていてくれていたのには感激しました。その後は、若者が集うエネルギッシュなミュージックカフェバー、さらにはカラオケと、ホーチミンの夜を堪能し、ホテルに着いたのは午前3時を過ぎていました。

3～4日目12月21日（土）～22日（日）：3時間くらいしか寝れず、朝食後にホテルの前の公園を散歩しました。気温は朝から28度くらいですが、緑いっぱい気持ちよかったです（写真7）。11時にチェックアウト後、現地法人社長（韓国人でソさん）が韓国料理に招待してくれましたが、またぜひベトナムへ来てくださいと言ってくださいました。そして、お土産を買いにベンタイン市場に寄った後、ヨウ専務、トミー部長と別れ、日本語の出来るベトナム人ガイドの案内でタクシーに乗り、韓さんと中央郵便局やサイゴン川、さらにはホーチミン料理の夕食を食べ（写真8）、午後9時くらいに空港に着きました。そして、23時45分発のJAL機でホーチミンから羽田空港へ帰国の途につきました。5時間くらいのフライトですが、2時間くらい浅い眠りについただけで、結局、3晩で7時間くらいの睡眠しかとれませんでした。起きている時も、ずっと夢の中のおとぎの国にいるような素敵なドタバタ講演旅行でした。





写真注釈

1. タンディン教会の前で（左がトミー部長、中央がヨウ専務）
2. 治療風景 3. 恩人のフォン先生
4. 案内看板 5. 講演風景 6. 講演者（中央がDuy先生、右がPark先生）
7. 朝の公園
8. Ciの韓（ハン）さんとホーチミン料理

私の初上陸1



佐久間 栄

昨年の夏、小樽の上浦先生の病院にデジタル歯科の勉強会参加のため北海道小樽市に行ってきました。

学会で札幌に行くことは何回かありましたが、小樽まで足を運ぶことは少なく15年ぶり3回目訪問になりました。

今回は家族とお世話になっている技工士内山大夢さんと前日入りしたため、初めて積丹半島に行きました。ご存知かもしれませんが積丹半島は海水の透明度が高く、昆布の生育も良く、海産物が豊富な場所です。とくに積丹ウニは有名です

積丹のウニにはバフンウニ（赤ウニ）」、「ムラサキウニ（白ウニ）」の2種類があり、とろろ昆布などに使用される上質な「細目昆布」を豊富に食べて育った積丹ウニは、濃厚な甘みと旨み、磯の風味が絶品です。とれたウニは、積丹町内で水揚げされ、その全てが町内で消費されますから、積丹に足を運ばないと絶対に食べられません。積丹のウニ漁が解禁されるのは6月～8月で、この時期に積丹を訪れているのに食べないわけにはいきません

ちなみにエゾバフンウニは「黄」と「赤」と呼ばれる区分けがあり、ウニの身とされ食用されているのは実は精巣と卵巣で、「黄」はオス、「赤」はメスのウニをさします。「黄」はとろけるようなうま味と食感、「赤」は濃厚で味わいが後に残ると言われています

近年は海水の温暖化と密猟によって、昆布の生育状況が悪く、それを餌にする海産物も不作のようです。

そして、やっと憧れの積丹のウニ丼を食べることになりましたが…何と不漁により赤ウニがないと言われましたが食堂で何とか見つけだして食べられる幸運に恵まれました。女将さんが今日は赤ウニあるよ～、珍しいよ～、運が良かったね～

と言うので4人で赤ウニ丼を注文しましたが、何と一杯15400円でドン引きする値段でした。味は普通に美味しかったですのですが、この値段なら銀座でもっと美味しいのが食べれるのでは？って思ったぐらい感動はありませんでした。

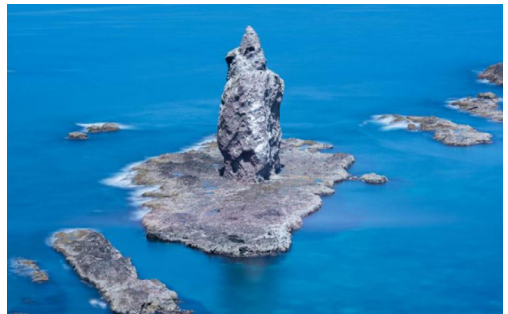
そのあと、カムイ岬にまで足を伸ばして積丹ブルーの海を見に行きました。神威岬とは、積丹半島北西部から日本海に突き出している岬のことを指します。積丹の名前の由来はアイヌ語の「シャク・コタン（夏の村）」だそうです。江戸時代から大正時代にかけては、ニシン漁が栄えていた漁業が中心の地域です。大海原へとダイナミックにせり出した神威岬の先端までは、女人禁制の門から約770m。両側に日本海の雄大な眺めが広がる遊歩道「チャレンカの小道」をたどっていくと、20分ほどで周囲300度の丸みを帯びた水平線を見ることができます。

神威岬には源義経とアイヌ日高地方首長の娘チャレンカの伝説が残されています。女人禁制の神威岬に義経の伝説は昔むかし、奥州にいた源義経は蝦夷地へ逃れ、神威岬から大陸へ渡った。義経に強く思いを寄せる首長の娘チャレンカの気持ちも知らずに義経は大陸へ向かって旅立ってしまう。チャレンカはその後を追い、神威岬までたどり着くも義経の船は沖の彼方へ。悲しみにくれたチャレンカは、「和人の船、婦女を乗せてここを過ぐればすなわち覆沈せん」と恨みの言葉を残し海に身を投げてしまった。悲しみと恨みを抱いたチャレンカの身体は神威岩と化し、以来、その周辺に女性を乗せた船が近づくと必ず転覆したことから、神威岬は女人禁制の地に。この決まりは明治時代初期まで続くこととなったようです。

どうやらチャレンカの悲しい失恋話を利用して、この辺り一帯の豊富な海の利権を守るために漁業関係者が伝説化したようです。

しかし、このチャレンカの小道はかなりの距離と坂道なため岬先端まで行くのは年老いた私には負担が大きいと考え、女人禁制の門までで引き返しました。ちなみに女人禁制の門までも坂道でかなりきつかったです。

帰りに積丹ブルーソフトを買って食べようとしたら、まだ16時前にも関わらずお店が閉まってるという商売っ気のなさで食べられず。残念な思いでホテルに戻ることに。なんとも微妙な積丹の旅でした。



私の初上陸2

沖縄には昔、学生の頃毎年、沖縄市コザ出身の同級生の黒島直克君ちによく遊びに行きました。

しかし、やちむんには全く縁がありませんでしたが妻に引っ張られ正月無理矢理？やちむん通りとやちむんの里に連れて行かれました

ところでやちむんって何だかわかりますか？

「焼き物」という言葉を沖縄風に発音したのが「やちむん」で、「焼き＝やち」「もの＝むん」という音の変化とおわかりいただければ覚えやすいと思います。琉球王国時代に現在の那覇市壺屋が産地として発展し、戦後になると人間国宝の金城次郎を始めとする陶工たちが読谷村に移り「やちむんの里」として知られるようになったようです。

やちむん通りはおしゃれなイメージの国際通りから平和通りに入ると風景が一転し、庶民的な沖縄に出会えます。アーケード街・平和通りを抜けると、そこは焼物の街・壺屋地区。通称、壺屋やちむん通りです。約300年前、琉球王府が各地に点在していた陶窯をこの地に集めて以来、壺屋は焼物の町としての歴史を歩み続けてきた場所だそうです。通りには琉球石灰岩が約400mにわたり敷き詰められ、陶芸工房や直売店、ギャラリーが20件ほど軒を連ねています。ショッピングだけでなく、那覇市立壺屋焼物博物館や登り南ヌ窯など見どころもいっぱい、風情ある街並散策も楽しかったです。

皆さん、沖縄の守り神であるシーサーはご存知ですか？私はよく知りませんでしたので書まともを書きます

1. シーサーは獅子（しし）を沖縄の方言で言い換えた言葉です。
 2. 2体対のシーサーはオスとメスのペアで口が開いている方がオス、閉じている方がメスです。
 3. 口を開けている雄は沖縄の悪霊であるマジムンを追い払ったり噛みついたりして、口を閉じている雌は幸福を呼び込み今ある幸せを逃さないという意味があるそうです。
 4. シーサーは金剛力士像のように阿吽（あうん）の一对になっていることが多く、阿（あ）がオス、吽（うん）がメスだそうです。
 5. シーサーは、エジプトやインドで強さの象徴とされたライオンが原型で、紀元前6000年頃、シルクロードを通り、中国から沖縄へ渡り伝えられてきたそうです
 6. シーサーは、風水的な信仰にも関連しており、屋根の上に置かれることで風水的なバランスを保ち、吉兆をもたらすと考えられているようです
- 獅子座生まれの私はなんか親近感があります。

やちむんの里

那覇空港から車で約1時間。「やちむんの里」はのどかな自然あふれる場所にあります。もともと「やちむん」は琉球王国時代、各地に散らばっていた窯元が那覇市壺屋（つぼや）に集められ発展してきましたが、1970年代、人口や住宅が増えた壺屋では、煙の出る窯焼きが困難になり、陶工たちは壺屋に代わる新しい土地を探すことになったようです。

人里離れた静かな自然環境が作品づくりにも適していたことから、1972年、沖縄初の人間国宝としても知られる名工・金城次郎さんが読谷村へ移り住み、それをきっかけに多くの陶工が読谷村に集まり始め、やがて「やちむんの里」が生まれたようです。

読谷山焼窯の内部の窯は傾斜をつけて作られ、最下層にある焚口（たきぐち）で薪を燃やすと、炎がだんだんと上へ登り、熱が全体に行き渡るような構造になっていて、それが登り窯と呼ばれる所以だそうです。火入れは3の倍数月の3・6・9・12月に行われているみたいです。のんびり歩きながら器探しが楽しめる「やちむんの里」にはすてきな工房が多く、どこに行けばいいのか迷いそうなぐらいです。

おすすめは入口近くのエリアで、やちむんの里の生みの親である、故・金城次郎さんの系統を受け継ぐ読谷壺屋焼きの工房が立ち並んでいます。

有名な金城次郎さんの作品は、素朴な作風の壺屋焼（上焼）で、壺、食器、酒器などの日用雑器が多いようです。魚や海老をモチーフにしたものが多く、笑っているように見える魚（笑う魚）などユーモラスな「魚紋」は金城次郎作品を代表する絵柄だそうです。小さなものでも1つ数十万円もしていました。

貧乏な私は小さなシーサーを1つ買うにとどまりましたが今回の沖縄は少しやちむんに興味が出た旅行でした。



戸木田信昭先生を偲んで



関東 英雄

戸木田先生は私の大学のバスケットボール部の先輩でした。一緒にプレーしたことは有りませんが、当時の学生としては大きい方だったと思いますので、活躍なさっていたと思われ
ます。学生だった頃は良く新歓や納涼会に来て頂いたと記憶しています。

練馬では同窓会の集まりの後飲みに行った思い出が有ります。ここの所あまり顔を見な
くなくなったと思っていたら、まさかのこのようなお知らせが届くとは思っていませんでした。
先生の唄う赤いグラスをもう一度お聞きしたかったです。大変お世話になりました。ご冥福
をお祈り申し上げます。



宮原 有義 先生

略 歴

入会日

昭和39年1月1日

出身校

日本歯科大学

役 職

学校名 豊玉南小

就任期間 昭和54年4月1日～平成27年3月31日

昭和48年4月～昭和50年3月：保険整備委員

昭和50年4月～昭和52年3月：都歯連盟練馬支部幹事（庶務）

昭和58年4月～昭和60年3月：医療管理委員

昭和60年4月～昭和62年3月：監事

昭和60年4月～昭和62年3月：本会福祉共済部監事

昭和62年4月～平成1年3月：厚生文化委員

平成1年4月～平成3年3月：会報委員



関口 武司 先生

略 歴

入会日

昭和55年4月7日

出身校

日本大学

役 職

ナシ



戸木田 信昭 先生

略 歴

入会日 昭和49年7月23日

出身校 日本大学

役 職

学校名 光が丘第五小

就任期間（学校医）

昭和61年4月1日～平成22年3月31日（閉校）

昭和52年4月～昭和54年3月：厚生文化委員

昭和58年4月～昭和60年3月：書記

平成1年4月～平成5年3月：保険委員

平成5年4月～平成7年3月：図書室委員



◆ 謹んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

今年度も「すずしろ」を発刊することができました。委員長・副委員長はじめ委員の皆様のご苦勞の賜物です。振り返ると歯科医業を取り巻く環境は悪化の一途を辿っております。今後は歯科の重要性を広めるべく、意見広告等の充実を考えて参りたい所存です。

(T.H)

今年はすずしろの自主製作が2年目だったのでテンプレートが出来上がっていたのと、二度目ともあってかなり短時間で完成できました。また生成AIの活用でイラストも簡単に自動作成してくれますのでより簡単になりました。今回まではワードで作成していましたがより安価で簡単に作れるように今回はGoogleドキュメントで作りたいと考えています。

(R. A)

自主制作2年目となりました。今回は同窓会からのご投稿をいただいたりと新しい試みを行うことができました。去年今年はいままでの「すずしろ」を追う形でしたが今後は新しいスタイルに変わっていても面白いと思います。委員の先生方引き続きよろしくお願い致します。

(S.A)

今年度も自分の成長しない不甲斐なさを感じつつ、他の委員会の皆様のご努力によって「すずしろ」を完成させることができました。ありがとうございます。一年間楽しかったです。来年度はもっと頑張ります。またお忙しい中投稿してくださった先生方にも感謝申し上げます。

(C.I)

昨年、今年とあまり戦力にならないのに言いたいことばかり言って脱線しまくりで、すいませんでした来年はもう少し頑張ります。蓮池先生、浅見先生、磯田先生、他委員会の皆様、いろいろありがとうございました。優しいメンバーで楽しくやれて嬉しかったです。

(S.S)

編集作業も2年目をむかえ、私自身昨年とあまり変わらない状況で先輩委員の先生方の御尽力により「すずしろ」が完成しました。この1年会館にPC持参で集まったり、ZOOM会議でのやり取りは楽しい時間でした。ありがとうございます。来年度は頑張ったと言えるようにしたいです！

(A.K)

歯科医師会に入会して初めて委員会に参加させていただきました。何もできないまま過ぎてしまいましたがたくさん助けていただいて楽しく過ごすことができました。本当にありがとうございました。

(H. I)



編集委員
佐久間 栄
川端 明美
乾 はな子
安齋 聡
委員長 浅見 律
副委員長 磯田 千恵
担当理事 蓮池 敏明

すずしろ No. 80

発行日 令和7年3月25日

発行所 公益社団法人練馬区歯科医師会
東京都練馬区豊玉北6-5-13
TEL 03 (3557) 0045 (代)
FAX 03 (3557) 3553

E-mail: nerimakushikaishikai@nerishi.org

<https://www.nerimaku-shikaishikai.or.jp/>

発行責任者 蓮池 敏明

印刷 印刷通販プリントバック

公益社団法人 練馬区歯科医師会 会員の皆さま

大切なご家族とクリニックをお守りし

安心して診療できるようお手伝いさせていただきます。

歯科医師のリスク対策に特化して最大限メリットを活用した「団体保険」を中心にご案内しております。ぜひ、福利厚生のお役に立ててください。

東京都歯科医師会 団体歯科医師賠償責任保険

基本
プラン

医師賠償責任保険

医療施設賠償責任保険

豊富な
オプション

医療機関用団体サイバー保険

勤務医包括担保

医療従事者
賠償責任保険

etc.



近年、医療機関を標的とした、ランサムウェアをはじめとしたサイバー攻撃による被害が増加しています。医療機関のシステムが感染すると電子システム等が利用できなくなり、診療への支障や患者の個人情報などが窃取されたりするなどの被害をもたらす可能性があります。

情報漏えい等の事故発生の場合、早期発見・早期対処が極めて重要です。保険会社の持つ緊急時のサポートサービスを活用することで、有事における負担の軽減を図ることもできます。

詳細のご説明、お問い合わせがございましたら弊社までよろしく申し上げます。

この広告は、概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店までお問い合わせください。

資料請求は下記までご連絡ください

生命保険・損害保険代理店

日本保険マネジメント株式会社

〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町2-20-7 水道橋西口会館309

TEL. 0120-463-176 平日 10時～17時

FAX. 0120-463-175

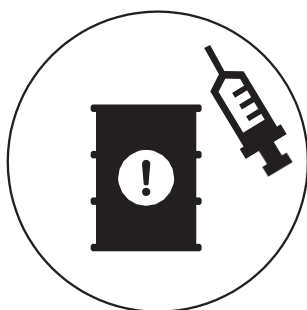
Mail info@jimhoken.com

FJ GROWING SERVICE

歯科金属を始めとする、
医療系廃棄物の適正処理事業
及び収集運搬事業とサービス専門業者



歯科貴金属の
回収・買取事業



医療廃棄物の
処理事業



歯科医院・院内清掃
DEMIGAKI



0120-256-888

本社・工場

埼玉県坂戸市千代田5丁目1番6号

営業所

FJ札幌／FJ千葉／FJ埼玉／FJ神奈川／FJ新潟／FJ沖縄

WEBからのお申し込みは
24時間受け付けております。



FJグローイングサービス

検索

www.fj-growingservice.com


営業時間／午前9時～午後5時（土日祝除く）

私たちは新たな付加価値を創造し、
モノにもう一度「命」を吹き込む会社です。

Make things regenerate.

We create and add extra values, in order to breathe "life" into matters once again.

-  **Recycle** 貴金属分析・精錬
-  **Clean** 産業廃棄物適正処理
-  **Support** 歯科研修会場 DHA

 相田化学工業株式会社

歯科営業部
〒183-0026 東京都府中市南町 6-31-2
TEL : 042-366-1201 FAX : 042-366-3101

札幌・仙台・新潟・郡山・埼玉・千葉・神奈川・東京
甲府・長野・静岡・名古屋・大阪・広島・香川・福岡・鹿児島



ご存知ですか？

アサヒプリテック(株)だからできること

AMS (アサヒメタルアカウントシステム) という
金・白金・パラジウム・銀を、
それぞれより高く売却する方法があること
アサヒプリテック(株)の分析能力が、
世界的に評価されているということ

小さな資源を、
あらたな資産へ



ASAHI PRETEC

アサヒプリテック株式会社

貴金属事業部 / 〒100-0005
東京都千代田区丸の内 1-7-12 サビアタワー
TEL (03) 6270-1831 FAX (03) 6270-1825
URL : <http://www.asahipretec.com>

■営業所 / 札幌・青森・仙台・新潟・北関東・関東・横浜・甲府・静岡
名古屋・北陸・大阪・神戸・岡山・広島・福岡・鹿児島・沖縄

旬を美味しく食べて
活魚・寿司・やきとり・天ぷら・ご会合各種弁当



40名様までのご宴会を承ります。
貸切、営業時間外・日曜日のご宴会などお気軽にお問い合わせ下さい。

〒176-0012 東京都練馬区豊玉北 5-21-3
TEL 03-3994-0203, FAX 03-3994-8761

※ ホットペッパー グルメにリンク



独立・開業を思ったら
開業資金の準備、開業時の節税対策等
医療法人、会社、一般・公益法人 設立・決算・申告
個人確定申告、相続・贈与申告の節税対策等
相談料はいただきませんので
お気軽にご相談ください。

税理士法人千代田タックスパートナーズ

〒101-0047 千代田区内神田1丁目14番5号 NK内神田ビル3階
TEL 03-3233-1988 FAX 03-3233-3880



<https://chiyoda-tax.net/>

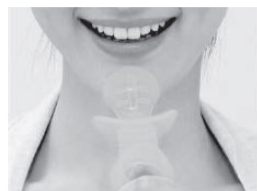
KONAMI

摂食・嚥下訓練器具のみこむトレーニング

ラビリントレーナー®

「いつまでもおいしく口から食べる幸せ」

食事にむせる、食物を飲み込みにくい、食べこぼす、ということはありませんか？そのような方は嚥下（えんげ）機能が衰えはじめています。いつまでもおいしく食事ができるようにラビリントレーナーで口腔トレーニングを行いましょう。



ラビリントレーナー

摂食・嚥下訓練器具

規格：材質：シリコンゴム／重量：約36g
耐熱温度：200℃（オートクレープ滅菌可）
サイズ：長さ149mm×幅54mm×厚さ32mm
カラー：口腔色

ご家庭で使いやすいスタンド付！



ドルフィン義歯ブラシ(スタンド付)

義歯用ブラシ

規格：柄…ポリプロピレン製
毛…ナイロン
硬さ…かため
耐熱温度…80℃
スタンド…3色（イエロー、レッド、ブルー）
材質…シリコンゴム
包装：6本入（ASS・単色）



大きい植毛部分は義歯床や人工歯全体を磨くのに適しています。小さい植毛部分は毛が固くクラス部分や義歯の細かい溝などを磨くのに適しています。

コンパクトヘッドタイプ
プラーク除去に優れたテーパー加工。

ドルフィン歯ブラシ

歯ブラシ



オリジナル歯ブラシとして名入れする事が可能です。

規格：ソフト（S）
ミディアム（M）
カラー：ソフト（S）
パステルブルー
パステルイエロー
パステルグリーン
パステルピンク
ミディアム（M）
ブルー・イエロー
グリーン・ピンク

包装：100本入（ASS）
25本入（単色）

極細毛とラウンド毛の二段植毛で、歯肉の奥まで優しくケアできます。

ドルフィン歯ブラシ DUO

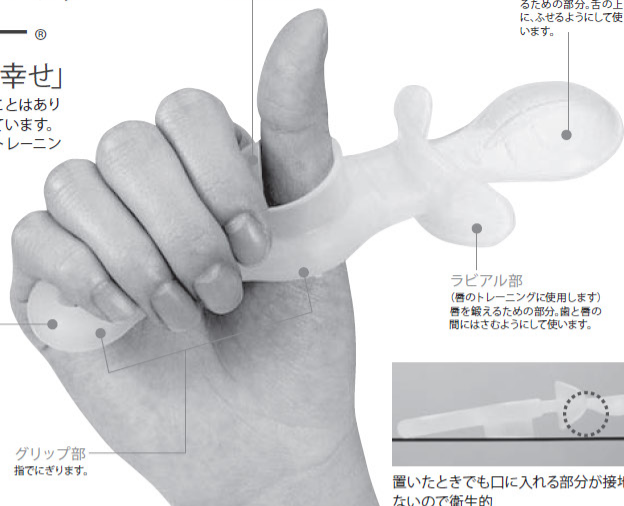
歯ブラシ



カラー：ブルー イエロー グリーン ピンク
包装：12本入 ASS・単色

ホルダー部
親指を差し込んで、
支えるために使います。

リング部
（舌のトレーニングに
使用します）舌を鍛え
るための部分、舌の上
に、ふせるようにして使
います。



つるし穴
フックなどにつる
して保管する時に
ご使用ください。

グリップ部
指でにぎります。

ラビアル部
（舌のトレーニングに使用します）
舌を鍛えるための部分、歯と舌の
間にはさむようにして使います。



置いたときでも口に入れる部分が接しないので衛生的

医院内でのご使用に最適!!



ドルフィン義歯ブラシ

義歯用ブラシ

規格：柄…ポリプロピレン製
毛…ナイロン
硬さ…かため
耐熱温度…80℃
包装：6本入

総合歯科医療商社

株式会社 **コサカ**

〒176-0013東京都練馬区豊玉中2-18-14

TEL:03-3557-4111 FAX:03-3557-4116

https://www.kosaka.co.jp E-mail:dental@kosaka.co.jp



レストラン エヌ.ルトウル
TEL.03-5999-2003

至 高円寺
豊玉陸橋
桃太郎すし 豊玉店
GS
練馬警察署南
西京信金
警察署
消防署
三井住友銀行
目黒通り
ファミリーマート
セブンイレブン
桜台駅前
みずほ銀行
池袋
桜台駅
練馬駅

AM 11:30 ~ PM 2:00
(1:00 ラストオーダー)
PM 5:30 ~ PM 9:00
(7:30 ラストオーダー)
■月曜・第2火曜定休
祝日の際は連休明けが休み

◆西武池袋線「桜台」駅より徒歩5分・「練馬」駅より徒歩7分
◆駐車場は、お近くのコインパーキングをご利用ください
〒176-0012 東京都練馬区豊玉北4-4-9

・忘年会、新年会、歓送迎会等のパーティー
お気軽にご相談下さい。HP 上でもご案内しております。

<https://n-retour.jimdofree.com/>
※写真クリックでホームページへ



The Journal of



the Nerima Dental Association

すずしろ No.80 令和7年3月26日発行
発行所 練馬区歯科医師会 東京都練馬区豊玉北6-5-13